

第1回石狩市介護保険事業計画等作成委員会

と き 平成23年2月18日(金)

午後5時30分

ところ 石狩市総合保健福祉センター

りんくる3階「視聴覚室」

会議次第

1. 開会
2. 挨拶 石狩市長 田岡 克介
3. 自己紹介
4. 委員長・副委員長の選出
5. 諮問書交付
6. 委員長就任挨拶
7. 計画の概要とスケジュールについて
8. 高齢者保健福祉計画の進捗状況について・・・資料1
9. 第4期介護保険事業計画の進捗状況について・・・資料2
10. 介護サービス等意向調査について・・・資料3
11. その他
12. 閉会

石狩市介護保険事業計画等作成委員会委員名簿

選出区分	選出母体団体等	選出数	選出者	備考
保健・医療・福祉関係者	医療関係者	1	はし 橋 もと 本 とおる 透	
	介護サービス事業者	3	みや 宮 た 田 つとむ 勉	
			わた 渡 なべ 辺 のり 教 まる 円	
			とう 当 せ 瀬 めぐみ 恵	
民生・児童委員連絡協議会	1	おく 奥 やま 山 くん 勲 じ 司		
地域団体の代表者	連合町内会連絡協議会	1	たけ 竹 くち 口 たかし 尊	
	ボランティア連絡協議会	1	まつ 松 ばら 原 あい 愛 こ 子	
	高齢者クラブ連合会	1	やま 山 だ 田 よし 義 はる 晴	
保険者	保健福祉部長	1	かま 鎌 だ 田 ひで 英 のぶ 暢	
学識経験者	藤女子大学	1	はし 橋 もと 本 のぶ 伸 や 也	
被保険者	一般公募	5	ほん 本 だ 田 おさむ 修	
			かな 金 もり 森 かず 和 お 夫	
			やま 山 うち 内 とし 登志美 み	
			やぶ 藪 なか 中 かつ 勝 み 美	
			おか 岡 もと 本 えい 栄 こ 子	

石高齡第 号
平成 年 月 日

石狩市介護保険事業計画等作成委員会
委員長 様

石狩市長 田 岡 克 介

(案)

石狩市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の見直しについて(諮問)

標記両計画につきましては、それぞれ老人福祉法(昭和38年法律第133号)及び介護保険法(平成9年法律第123号)に基づき3年に1度の見直しを行うこととされております。

つきましては、高齢者保健福祉計画の改定に関する事項及び介護保険事業計画の改定に関する事項について、作成委員会の意見を求めます。

石狩市介護保険事業計画等作成委員会設置要綱

平成10年9月14日要綱第26号

〔注〕平成17年から改正経過を注記した。

改正

平成11年2月9日要綱第3号

平成13年3月29日要綱第9号

平成17年3月29日要綱第26号

平成20年2月15日要綱第9号

石狩市介護保険事業計画等作成委員会設置要綱

(設置)

第1条 石狩市における介護保険事業計画等の円滑な作成を図るため、石狩市介護保険事業計画等作成委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(協議事項)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる事項について協議する。

- (1) 高齢者保健福祉計画の改定に関する事項
- (2) 介護保険事業計画の改定に関する事項
- (3) 高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画の管理、運営に関する事項

(組織)

第3条 委員会は、次に掲げる者の中から市長が委嘱する委員15人以内をもって組織する。

- (1) 保健、医療及び福祉関係者
- (2) 地域団体の代表者
- (3) 保険者の代表者
- (4) 学識経験者
- (5) 被保険者

2 委員の任期は、2年間とする。

3 委員会に委員長及び副委員長各1人を置き、委員が互選する。

(会議)

第4条 委員会の会議は、委員長が招集する。

2 委員会の会議は、委員の過半数の出席がなければ開くことができない。

3 会議の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、委員長の決するところ

るによる。

4 委員会の会議は、原則として、これを公開する。

(庶務)

第5条 委員会の庶務は、保健福祉部において処理する。

(委任)

第6条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

附 則

1 この要綱は、平成10年9月14日から施行する。

2 平成17年度及び平成18年度に限り、第3条第1項中「15人以内」を「20人以内」とする。

附 則(平成11年2月9日要綱第3号)

この要綱は、平成11年4月1日から施行する。

附 則(平成13年3月29日要綱第9号)

この要綱は、平成13年4月1日から施行する。

附 則(平成17年3月29日要綱第26号)

この要綱は、平成17年4月1日から施行する。

附 則(平成20年2月15日要綱第9号)

この要綱は、平成20年2月15日から施行する。

資料 1

高齢者保健福祉計画の進捗状況について

第1節 高齢期の健康づくりの推進

1 健康増進の推進

生涯現役の基本となる健康づくりに対して、個人個人が積極的に取り組んでいくよう意識づくりを高めるとともに、疾病の予防・早期発見・早期治療のため、健康診査やがん検診さらには感染症予防等に関する啓発の強化や高齢者の健康管理を推進するため、以下の事業を実施しました。

主要施策	施策の内容	進捗状況
1 健康相談機会の充実	地域の会館等、身近な場所で相談を受けられる機会など利用しやすい健康相談機会の充実に努めます。	健康相談（65歳以上） H20年度 90回 延1230人 H21年度 94回 延1560人 H22年度上半期 56回 延680人
2 健康づくりに関する啓発・情報提供の促進	「健康いしかり21」を健康づくりの目標として普及啓発を強化するとともに、市広報、ホームページ、各種イベント等を通じ高齢者の健康づくりに関する啓発・情報提供を推進します。	「健康いしかり21」講演会 H21年度 1回 延130人 H22年度下半期 2回実施予定 他、イベント、窓口等でリーフレットを配布。出前講座のメニューとして設定し啓発に努めた。
3 歯の健康づくり運動の推進	高齢期の健康の保持増進のため、8020（ハチマルニイマル）運動を推進します。	歯周疾患検診の実施 H20年度 2回 延40人 H21年度 2回 延21人 H22年度下半期 1回実施予定 歯科相談の実施 H20年度 4回 延30人 H21年度 4回 延68人 H22年度上半期 5回 延28人 歯科健康教育の実施 H20年度 2回 延36人 H21年度 3回 延51人 H22年度下半期 予定
4 健康増進事業の推進	高齢者一人ひとりの健康づくりを支援するため、地域の会館など身近な場所での事業実施を検討するなど、健康学習の充実や各種健康増進事業を推進します。	おやじの料理教室：男性が自立した在宅生活を送れることを目的に実施 H21年度 4回 延120人 H22年度下半期 4回予定 健康運動個別指導 H20年度 延1,884人 H21年度 延1,852人 H22年度上半期 延929人

5 地域における健康づくり活動の促進	健康づくりを目的とした自主活動団体に対し、情報提供や講師派遣などの支援を行い、地域における健康づくり活動を促進します。	依頼に応じ情報提供や講師紹介や派遣等の支援の実施
6 健康診査・保健指導の実施	特定健康診査及び後期高齢者の健康診査を実施します。また、検診の結果必要な方には保健指導など、生活習慣病や疾病予防のための支援を行います。	H20 年度：特定健康診査 1,151 人 後期高齢者健康診査 183 人 H21 年度：特定健康診査 1,125 人 後期高齢者健康診査 257 人 H22 年度上半期：特定健康診査 564 人 後期高齢者健康診査 186 人
7 がん検診や骨粗しょう症等各種検診の実施	がんの早期発見のため各種がん検診を推進するとともに、節目年齢を対象に骨粗しょう症検診や歯周病検診を実施し高齢期の健康増進に努めます。	65 歳以上の受診数 ・胃がん検診：H21 年度 982 人 ：H22 年度上半期 675 人 ・肺がん検診：H21 年度 928 人 ：H22 年度上半期 670 人 ・大腸がん検診：H21 年度 1,090 人 ：H22 年度上半期 746 人 ・子宮頸がん検診：H21 年度 255 人 ：H22 年度上半期 209 人 ・乳がん検診：H21 年度 306 人 ：H22 年度上半期 262 人 ・骨粗しょう症検診：H21 年度 61 人 ：H22 年度上半期 26 人 ・歯周病検診：H21 年度 4 人 ：H22 年度下半期予定
8 感染症予防の推進	高齢者に多い感染症である結核やインフルエンザ、またノロウイルスなどによる食中毒の発生などの予防啓発に努めるとともに、結核の早期発見を目的とした住民検診及び高齢者インフルエンザ予防接種を実施します。	・結核住民検診：H21 年度 250 人 ：H22 年度上半期 14 人 ・インフル予防接種(65 歳以上)：H21 年度 5,339 人 ：H22 年度 10 月開始予定

2 介護予防の推進

予防給付や地域支援事業を中心に、地域包括支援センターが、要支援・要介護状態になる以前からの一貫性・連続性のある介護予防マネジメントを行い、適切な介護予防を図るため以下の事業を実施しました。

主要施策	施策の内容	進捗状況
1 介護予防に関する啓発情報提供の推進	認知症等の予防の必要性を広く発信していくことが重要なことから、今後とも啓発活動を積極的に推進します。	ニコピンおたっしや講座（高齢者クラブ対象） H21 年度：14 力所、15 回、延 565 人 H22 年度上半期：3 力所、3 回、延 92 人
2 生活機能評価の実施	介護予防を充実するため生活機能評価を実施し、二次予防事業対象者の把握に努めます。	H21 年度 基本チェックリスト実施数 1,168 人 生活機能評価受診数 1,029 人 二次予防事業対象者数 118 人 二次予防事業対象者実態把握（委託）8 件 平成 22 年度上半期実績 二次予防事業対象者数 77 人 二次予防事業対象者実態把握（委託）7 件
3 筋力トレーニングの実施	高齢者向けトレーニング教室の継続的な実施により、指導者の育成や参加者の組織化（サークル化）に努めるとともに、高齢者のトレーニング活動の日常生活化を図るための調査、研究を実施します。	やさしい筋力トレーニング教室（体育協会事業） H20 年度：22 回 延べ 777 人 H21 年度：13 回 延べ 531 人 H22 年度：下半期予定
4 通所型介護予防事業の推進	特定（虚弱）高齢者を対象としたパワーリハビリ事業、アクティビティサービス、口腔機能向上事業等を実施し、要介護状態への予防を図ります。	H21 年度：119 回、延 808 人 H22 年度上半期：51 回、延 315 人
5 訪問指導の推進	専門職が訪問し、健康づくり・口腔衛生・栄養・運動等の指導を行うことで介護予防を図ります。	H21 年度：延 209 人 H22 年度上半期：延 58 人
6 認知症者サポート体制の推進	認知症者の地域理解を深めるため、認知症サポーター養成講座を積極的に開催します。また、認知症に関する相談窓口の周知と、認知症の早期発見・早期対応を図るためのネットワークの構築を推進します。	認知症サポーター養成講座 H21 年度：15 回、延 361 人 H22 年度上半期：5 回、延 134 人

7 介護予防教室の実施	高齢者等を対象とした転倒予防教室、認知症予防教室、太極拳教室等を開催します。また、町内会・高齢者クラブ・地区社協等と協働し身近な場所で介護予防教室に参加できる機会を増やします。	<ul style="list-style-type: none"> ・一般高齢者機能訓練事業 H21 年度：547 回、延 6,127 人 H22 年度上半期：299 回、延 3,036 人 ・介護予防教室（委託） H21 年度：8 回、延 336 人 H22 年度上半期：1 回、延 42 人
8 家族介護支援事業の実施	認知症サポーター養成講座と連動し、認知症者を介護する家族を対象に認知症の理解、介護技術の向上等を図るとともに介護者の情報交換等の機会を確保します。	事業としての実績なし (個別支援の中で介護者支援を実施)
9 住民グループ支援事業の実施	高齢者の身体能力の低下・閉じこもりを予防するために、地域でいきいきサロン事業等を実施する団体を支援するとともに、事業の拡大・充実に向け取り組んでいきます。	H20 年度：1 団体、12 回、延 493 人 H21 年度：2 団体、34 回、延 931 人 H22 年度予定：4 団体、60 回、延 1,327 人
10 食生活改善に対する相談・指導の実施	支援の必要性の高い対象者に対し指導を充実するとともに、健康相談や訪問による個別の指導を充実します。	健康相談・訪問栄養相談(65 歳以上) H20 年度 延 50 人 H21 年度 延 24 人 H22 年度上半期 延 16 人

第 2 節 高齢者の自立を支えるサービス提供の推進

1 総合的なサービス提供体制の整備

保健・医療・福祉の連携のもと、総合的なサービスを提供できるケアマネジメント体制の整備やサービス提供者等とのネットワークづくりを進めてきました。

主要施策	施策の内容	進捗状況
1 「りんくる相談センター」の機能充実	総合保健福祉センターりんくるを中心として、介護予防ケアマネジメント事業 総合相談・支援事業 権利擁護事業 包括的継続的ケアマネジメント支援事業 の 4 事業を総合的に展開させることにより、高齢者への支援に取り組めます。	H21 年度 282 件 3,050 件 第 2 節 2 の 9 で後述 第 2 節 4 の 1 及び第 3 節 2 の 2 で後述 H22 年度上半期 284 件 1,812 件 第 2 節 2 の 9 で後述 第 2 節 4 の 1 及び第 3 節 2 の 2 で後述

2 保健福祉制度や介護保険制度に関する情報提供の推進	出前講座などへの積極的な対応のほか、地域包括支援センターや民生委員などとの連携により、制度の浸透を図っていきます。	4/15 花川南コミセン（婦人団体） 10/17 親船会館 10/17 柏水会館（治水はまなす町内会） 参考：福祉総務課出前講座開催実績（地域福祉りんくるプランに関する講座） H21 年度：2 回 H22 年度：1 回
----------------------------	---	--

2 生活支援サービスの充実

高齢者が自立した生活を確保するために必要な生活支援施策の推進や訪問介護等の居宅サービスを関係機関との連携などにより、サービスの質の向上に努めてきました。

主要施策	施策の内容	進捗状況
1 介護保険給付サービス量の確保と質の向上	介護保険事業計画に基づき、訪問介護等の保険給付サービス量の確保に努めるとともに、サービスの質の向上に努めます。	H21 年度介護給付費 予算額：3,231,087 千円 決算額：3,170,186 千円（執行率：98.1%） H22 年度上半期介護給付費 予算額：3,406,374 千円 実績額：1,644,645 千円（執行率：48.2%）
2 介護保険サービスの質と利用者満足度の向上	介護相談員が利用者宅や事業所、介護保険施設等を訪問し、利用者の相談・苦情・要望に対し、関係事業所との橋渡し役となり、介護サービスの質的向上とサービスの適正化を図ります。また、介護相談員の活動を広報誌やホームページ等で広く周知していきます。	・ 介護相談員派遣 H21 年度 市内介護保険施設：5 カ所、 延 72 回 市内グループホーム：14 カ所、 延 18 回 個別訪問：258 件 H22 年度上半期 市内介護保険施設：5 カ所、 延 41 回 市内グループホーム：16 カ所、 延 17 回 個別訪問：112 件
3 配食サービスの推進	自分で調理が困難な独居高齢者等に栄養のバランスのとれた食事を提供し、ひとり暮らしの不安を解消する「食の自立」としてのサービスを推進します。	H20 年度：29,170 食 H21 年度：26,791 食 H22 年度上半期：12,846 食
4 理美容・紙おむつ支給サービス等の推進	寝たきり高齢者等の生活の質の向上と経済的負担を軽減するため、理美容サービスや寝具洗濯乾燥消毒サービス、紙おむ	【理容】 H20 年度：登録者 12 人（実利用者 9 人） H21 年度：登録者 15 人（実利用者 8 人）

	つ支給サービスを推進します。	<p>H22年度上半期：登録者10人(実利用者3人)</p> <p>【紙おむつ】</p> <p>H20年度：登録者129人(実利用者112人)</p> <p>H21年度：登録者139人(実利用者122人)</p> <p>H22年度上半期：登録者108人(実利用者99人)</p> <p>【寝具】</p> <p>H20年度：登録者11人(実利用者9人)</p> <p>H21年度：登録者11人(実利用者7人)</p> <p>H22年度上半期：登録者10人(実利用者3人)</p>
5 介護予防サービスの推進	要介護認定の対象とならない虚弱な高齢者を対象に、介護予防の点から、「いきいきデイサービス」と「いきいきホームヘルプサービス」などのサービスを推進します。	<p>【いきいきデイ】</p> <p>平成20年度：利用者2人</p> <p>平成21年度：利用者3人</p> <p>平成22年度上半期：利用者0人</p> <p>【いきいきホームヘルプ】</p> <p>平成20年度：利用者5人</p> <p>平成21年度：利用者4人</p> <p>平成22年度：利用者3人</p>
6 生活支援サービスの推進	ひとり暮らし高齢者等に対する生活不安を解消するために、緊急通報サービスや冬期間の快適な生活を確保するための除雪サービスなどの生活支援サービスを推進し、また、よりニーズにあったサービス提供や受益者負担のあり方など、サービス内容についても検討していきます。	<p>【緊急通報サービス】</p> <p>H20年度：利用世帯142世帯</p> <p>H21年度：利用世帯133世帯</p> <p>H22年度上半期：利用世帯132世帯</p> <p>【除雪サービス】</p> <p>H20年度：利用世帯429世帯</p> <p>H21年度：利用世帯415世帯</p> <p>H22年度：実利用449世帯</p> <p>【訪問サービス】</p> <p>H20年度：利用世帯65世帯</p> <p>H21年度：利用世帯63世帯</p> <p>H22年度上半期：利用世帯61世帯</p>
7 徘徊認知症高齢者等探索機器貸与サービスの推進	徘徊する認知症高齢者の早期発見と事故の防止を図るなど、家族が安心して介護できる環境を整え、認知症高齢者の在宅生活を支援します。	<p>H20年度：利用者10人</p> <p>H21年度：利用者7人</p> <p>H22年度上半期：利用者5人</p>
8 外出支援サービスの推進	一般の交通機関を利用することが困難な在宅の寝たきり高齢者等を対象に、市内医療機関等への送迎をするなど、移動手段を提供する外出支援サービスについて、ニーズにあったサービスへの転換を	<p>H20年度：登録者5人(実利用者1人)</p> <p>H21年度：登録者3人(実利用者1人)</p> <p>H22年度上半期：登録者3人(実利用者2人)</p>

	図るため、他の外出支援サービスや介護タクシーとの関連など、事業内容について検討していきます。	
9 権利擁護事業の促進	判断能力が低下した高齢者が、地域で安全な生活が送れるように消費者被害の防止、「権利擁護事業」の周知、促進と身寄りのない方の「成年後見人制度利用支援事業」の円滑な支援に取り組んでいきます。また、高齢者虐待防止ネットワークの充実と推進を図り、体制を強化していきます。	H21 年度 ・高齢者虐待新規相談数 22 件（虐待新規認定数 11 件） ・高齢者虐待防止ネットワーク会議（全体会議）1 回 ・高齢者虐待防止ネットワークケース検討会議 13 回 ・高齢者防犯連絡網の活用 18 回 H22 年度上半期 ・高齢者虐待新規相談数 8 件（虐待新規認定数 2 件） ・高齢者虐待防止ネットワーク会議（全体会議）10 月 15 日開催 ・高齢者虐待防止ネットワークケース検討会議 4 回
10 「やすらぎ訪問活動事業」の取り組み	認知症高齢者の家族介護を支援するため、ボランティアセンターなどとの連携により、近隣者やボランティア等による見守りや話し相手となる「やすらぎ訪問活動事業」について、実現化に向け取り組んでいきます。	ボランティアセンターからひとり暮らし高齢者・障がい者等へ人員派遣 【朗読テープ交換】 ・H21 年度：90 件 ・H22 年度：72 件（1 月末現在） 【傾聴・話し相手】 ・H21 年度：101 件 ・H22 年度：69 件（12 月末現在）
11 サービスのあり方の見直し	高齢者の自立と生活を支援する必要なサービスを検討するとともに、利用ニーズや社会状況に対応する効率的・効果的なサービスを提供します。	福祉利用割引券の利用拡大について検討。 敬老会 対象者を 75 歳以上とし H22 年度から出席者に対して助成を行う。（経過措置として 2 年間に限り団体割額を交付する）

3 施設サービスの充実

要支援・要介護高齢者の施設ニーズに対応するため、個室・ユニットケア化等の整備促進についての検討や地域密着型サービスとしての小規模多機能施設の整備促進に努めてきました。

主要施策	施策の内容	進捗状況
1 居住福祉型施設のユニットケア化の促進	より生活の質の向上を図る観点から、居住福祉型施設のユニットケア化を促進します。	該当施設については、機会のあるごとにユニットケア化について説明を行っている。

2 高齢者向住宅の整備促進	高齢者が地域の中で安心して暮らし続けられるよう、高齢者住宅やケア付き住宅など高齢者の多様な住まいの整備を促進します。	民間事業者の参入により、中・高齢者用賃貸住宅を3棟設置
---------------	--	-----------------------------

4 福祉人材の養成

多様化し増大する要介護高齢者に対応するための福祉人材の養成に努めるとともに、サービスの質の向上を図るため、福祉サービスの従事者に対する研修の充実を図ってきました。

主要施策	施策の内容	進捗状況
1 介護支援専門員の資質の向上	介護支援専門員連絡会議等を開催し、介護支援専門員同士の交流や情報交換できる機会を提供し、また、研修会の開催により、介護支援専門員の資質向上を目指します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 居宅介護支援事業所訪問 H21年度：(石狩)8カ所 H22年度上半期：0カ所 ・ 居宅ケアマネの集い H21年度：(石狩)1回 H22年度上半期：0カ所 ・ 居宅介護支援専門員連絡会議 H21年度：(石狩)3回(H21年度で終了、H22年度から地域ケア会議で集約) ・ 介護保険事業所関係者連絡会議 H21年度：(厚田)24回 H22年度上半期：12回 ・ 居宅介護支援事業所訪問 H21年度：(厚田)6回 H22年度上半期：3回 ・ 浜ケアネット H21年度：(浜益)8回 H22年度上半期：5回 ・ 浜ケアネット学習交流会 H21年度：(浜益)3回 H22年度上半期：1回
2 福祉人材拡充のための養成研修等の開催	福祉人材のすそ野を拡充し、その技術や資質の向上を図るため、ホームヘルパー研修やボランティアの養成研修等の開催を促進し、特に専門研修と事後研修の実施に取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> 【ホームヘルパー-2級研修】 市内唯一のヘルパー研修として開講 ・ H21年度：33人 ・ H22年度：29人 【地域福祉コーディネーター養成講習】 地域における中核的人材養成 ・ H21年度：20人 ・ H22年度：25人申込(募集中) 【災害ボランティアコーディネーター養成講習】

		<p>災害時を想定した実践的演習を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H21年度：37人 ・H22年度：(開催に向け現在募集中) <p>【ボランティアスクール】</p> <p>初心者を対象として開催し、ボランティアセンターへの登録を促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H21年度：22人 ・H22年度：(開催に向け現在募集中)
3 ヘルパー講習等への支援	<p>高齢者の福祉分野における担い手としての就労を促進するため、市社会福祉協議会が行うヘルパー講習会への講師派遣や高齢受講者に対する支援を検討します。</p>	<p>社協ヘルパー研修の講師として、地域包括支援センターの理学療法士を派遣。また、高齢受講生について、H22年度は76歳男性が受講中である。</p> <p>例年5月開講だったが、冬期間にも受講の機会を作ることとし、H22年度は12月開講とした。</p>

第3節 高齢者を地域で支えるコミュニティづくり

1 支え合うところや意識づくりの推進

市民の心のバリアフリーを促進するため、様々な機会を通じ高齢者や社会的弱者を支え合う心を育んできました。

主要施策	施策の内容	進捗状況
1 市社会福祉協議会の広報誌や冊子の充実	<p>市民の地域福祉活動への理解と協力を推進し、共生社会の実現に向け、地域福祉の推進主体である市社会福祉協議会が発行する広報誌や冊子の充実とホームページでの情報提供を促進します。</p>	<p>年4回広報誌を発行し、社協事業計画や地域福祉事業の進捗状況の周知を行った。</p> <p>また、H21年度にはホームページをリニューアルし、更なるわかりやすい情報の提供を図った。</p> <p>特にH22年度より実施の各地域福祉事業について、これら広報媒体を通じての問合せが今まで以上に市民より多数寄せられたことから、今後も更なる情報提供の充実を図りたい。</p>
2 ボランティアセンター機能の拡充	<p>ボランティアの養成・確保や活動の活性化のため、市社会福祉協議会が設置・運営するボランティアセンターの機能充実の支援を行い、不足しがちな地域福祉活動の担い手や総合的な福祉関連活動の情報提供の機能を確立するなどの事業を促進します。</p>	<p>相談・調整・派遣や各種研修を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H21年度：派遣数1,308件 延2,229人 ・H22年度：(12月末現在) 派遣数1,088件 延1,687人 <p>また、機関紙や随時ホームページによる情報提供を実施。</p> <p>広報誌：年12回発行</p>

3 福祉大会の充実	市民の福祉意識の啓発と高揚を図り、地域の福祉に繋がるような「福祉大会」の充実を支援します。	地域福祉をテーマにした講演会を実施し、広く市民への啓発を行った。 ・H21年度 テーマ：「少子化・非婚・晩婚から見えてくる地域の福祉力」 参加人数 215人 ・H22年度 テーマ：「新潟県中越沖大震災と地域、社協の役割」 参加人数 250人
4 「ふれあい広場いしかり」の充実	ノーマライゼーションの普及等を目的とした「ふれあい広場いしかり」の充実を支援します。	ボランティアを中心として構成する実行委員会方式で開催。 また、H22年度はステージと一部店舗を屋外で実施し、より多くのふれあいの機会を持つことが出来た。 ・H21年度：総参加者数 2,100人 うちボランティア役員 303人 ・H22年度：総参加者数 3,100人 うちボランティア役員 289人

2 地域ケア体制の整備

本市においては3つの日常生活圏域のもと、地域包括支援センターを中心に、地域ケア体制の充実を図ってまいりました。

主要施策	施策の内容	進捗状況
1 住民グループ支援事業の実施【再掲】	高齢者の身体能力の低下・閉じこもりを予防するために、地域でいきいきサロン事業等を実施する団体を支援するとともに、事業の拡大・充実に向け取り組んでいきます。【再掲】	H21年度：2箇所（花川南地区） H22年度：2箇所（花川北・親船東） 計4箇所で開催
2 地域包括支援センターを中心とした地域ケア体制の確立	地域で安心して暮らしていくために保健・医療・福祉と連携し総合的なサービスを提供できる地域のネットワークづくりを推進します。	H21年度 ・地域ケア会議全体会 3回 ・地域ケア会議専門部会 12回 ・高齢者虐待防止ネットワーク会議（全体会議）1回（再掲） ・市民講演会 1回、194人 テーマ「認知症にズームイン」 H22年度上半期 ・地域ケア会議全体会 2回 ・地域ケア会議専門部会 6回 ・高齢者虐待防止ネットワーク会議（全体会議）0回（再掲） ・市民講演会 1回、160人 テーマ「今日からできる認知症予

		防！」(11月)
3 近隣での見守り・声かけ運動の促進	市社会福祉協議会等と連携して、ひとり暮らし高齢者等の安否確認や孤独の解消を目的とした、近隣での見守り・声かけ活動を促進します。	地区社協・町内会等で、ひとり暮らし高齢者への見守り・声かけを行っている他、H22年度では民生委員・児童委員による「高齢者等訪問事業」を実施し、「保健福祉窓口早わかり表」の配付や「災害時等要援護者支援制度」の説明・登録の呼び掛けなどを通じ、見守り活動の更なる促進を図った。
4 ふれあい給食サービス事業の拡充	地域において行われている、ひとり暮らし高齢者等を対象とした、ふれあい給食サービス事業の拡充を支援します。	・H21年度：参加者3,704人 ボランティア数1,268人 ・H22年度：参加者3,305人 ボランティア数1,343人 料金：1食600円(うち自己負担額300円) 平成21年度には、地区社協とふれあい給食事業実施町内会との情報交換会を実施し、更なる事業の充実を図った。
5 地区社会福祉協議会の活動促進	小地域で福祉活動を推進する地区社会福祉協議会の活動を促進します。	地区社会福祉協議会数 ・H21～H22年度：15地区 活動内容：広報誌の発行や運動会などの世代間交流、配食サービスを通じたひとり暮らし高齢者等の見守り活動など。 今後、新たな活動の展開や組織数の増加を図るなど、活動の活性化に向け、支援していく。
6 民生委員・児童委員との連携強化	民生委員・児童委員と連携を図り、地域ケアネットづくりを強化し、地域での福祉問題を把握するとともに、その解決に努めます。	研修会や出前講座等で行政サービスや福祉制度に関する情報提供を行うとともに、定例会議に参加し、情報の共有や課題等の収集及び検討に努めている。H22年度では民生委員・児童委員による「高齢者等訪問事業」を実施するなど、地域での見守り役の一員としての役割を強化した。
7 ボランティア活動等における NPO 法人等の支援	市民の主体的なまちづくり活動を支援するための「市民活動情報センター」において、NPO 法人をはじめとする市民活動団体の情報発信・運営・事務支援等を行っていきます。 また、「協働事業提案制度」の活用により、団体の主体的な協働提案を積極的に募り、その実現が図られるよう努めていきます。	市民活動情報センター入場者 ・H20年度 10,071人 ・H21年度 12,531人 ・H22年度上半期 6,468人 情報誌を2ヶ月毎に発行 「石狩の市民活動情報ノート」を平成22年度に発行 協働事業提案制度採択事業数 ・H20年度 6件 ・H21年度 7件 ・H22年度 5件
8 「やすらぎ訪問活動事業」の取り組み【再掲】	認知症高齢者の家族介護を支援するため、ボランティアセンターなどとの連携により、近隣者やボランティア等による見守りや話し相手となる「やすらぎ訪問活動事業」について、実現化に向け取り組んでいきます。【再掲】	ボランティアセンターからひとり暮らし高齢者・障がい者等へ人員派遣 【朗読テープ交換】 ・H21年度：90件 ・H22年度：72件(1月末現在) 【傾聴・話し相手】 ・H21年度：101件 ・H22年度：69件(12月末現在)

第4節 生きがいと張り合いのある高齢期の生活の質の確保

1 社会参加・社会貢献活動の促進

生涯にわたって、学習・文化・スポーツ・レクリエーションが楽しめるよう、各種の機会づくりに努めるとともに、知識・技術を身に付けた高齢者が別の高齢者を指導できるような環境づくり、地域でのボランティアグループの活動やボランティア会員の増強等、ボランティアコーディネート機能の充実と、ボランティアグループへの支援強化を図ってまいりました。

主要施策	施策の内容	進捗状況
1 高齢者クラブの育成	高齢者の生きがいを高め、健康づくりを進めるため、高齢者自ら企画するボランティア活動や社会貢献活動などを行う高齢者クラブの育成を図ります。	H20年度：46クラブ(2,991人) H21年度：44クラブ(2,960人) H22年度：43クラブ(2,867人)
2 「シニアプラザ」などの推進	高齢者の継続的な学習や交流の機会を提供するため、「シニアプラザ」などの推進を図ります。	はまなす学園(石狩) H21年度：18回926名 H22年度：18回1,184名 内容：午前は講義、午後はクラブ活動を基本とし、文化祭なども実施 おらが元気塾(厚田区) H21年度：5回64名 H22年度：5回59名 バス見学や芸術鑑賞、はまなす学園文化祭での地域間交流、小学校のもちつき大会に参加し世代間交流を図っている いきがいづくり学園(浜益区) H21年度：9回315名 H22年度：9回320名 内容：運動会や社会見学、映画鑑賞会、編み物教室などを実施
3 芸能発表等の文化活動の促進	高齢者の生きがい活動を推進するため、芸能発表の場や交流の場の提供を行い、高齢者の文化活動を促進します。	石狩市民文化祭を開催し、高齢者を含めた幅広い年齢層の文化活動発表の場づくりを進めているほか、石狩市文化協会から、各種発表等の文化事業に対し行事費助成をし、文化活動の促進に努めている。
4 高齢者の高度情報化社会への適応能力の強化	高齢者の高度情報社会への適応を図るため、コンピュータ教室等の情報学習機会を提供するとともに、高齢者自らホームページを作成・発信できる参加型情報シ	いしかり市民カレッジ(石狩) 高齢者でもパソコンを活用できるようにと、「パソコン応用実践講座～あなたのスキルアップにチャレンジ」を開催(H21年

	<p>STEMを促進します。</p>	<p>度：54人 H22年度：41人） また、いしかり市民カレッジ独自のホームページを立ち上げ(H22年6月)、市民カレッジ受講者がホームページに親しむきっかけになればと、毎講座ごとに内容を更新している。</p>
<p>5 高齢者の生きがい農園事業の推進</p>	<p>収穫の喜びと生きがいづくりのため、高齢者の生きがい農園事業を推進します。</p>	<p>H20年度：130人 H21年度：130人 H22年度：130人</p>
<p>6 世代間交流の促進</p>	<p>社会教育事業の中で、世代間交流事業を意識した取り組みを推進していきます。</p>	<p>いしかり市民カレッジ(石狩) 若い世代から高齢者まで広く対象とし、国際交流や戦争体験にまつわる講話など、世代間交流を意識しつつ、様々なテーマを題材とした講座を企画・実施している。 (厚田)「厚田区スポーツと食の体験」を実施し、区内の子どもからお年寄りまで、スポーツレクによる健康維持増進と、地域間、世代間の交流を深めている。</p>
<p>7 シニアボランティアの育成・支援</p>	<p>高齢者が経験や知識を地域福祉活動に活かすことで、生きがいをもって生活を送ることができるとともに、福祉人材の確保や地域社会における福祉の機運の高まりが期待されることから、高齢者のボランティアの育成などを支援します。</p>	<p>H21年度は、高齢者クラブの会員を対象に興味や特技を生かすための実技をテーマに研修会を開催。また、市内各施設で必要とされているボランティア活動例を紹介した。参加者は30名程度。しかしながら、高齢者クラブ単体ではなかなかボランティアの養成にはつながらなかったため、H22年度は対象を概ね60才以上の方と広く設定。ボランティア活動が新たな社会参加のきっかけとなることを目指し、現在企画準備中である。3月23日実施予定。</p>
<p>8 生涯スポーツの推進</p>	<p>カローリング等のニュースポーツの普及や高齢者に対するスポーツ活動の支援を継続的に実施します。高齢者が気軽に、継続的にスポーツに親しむ環境を整備するため、ウォーキングロードの設定やウォーキングマップづくりを実施します。また、世代間交流のできる総合型地域スポーツクラブ設立に向けての基盤整備を実施します。</p>	<p>・カローリング教室 H20年度：8回 H21年度：8回 H22年度：8回 ・ウォーキング推進事業(イベント、講習会、町内会普及・啓発事業) H20年度：2回 H21年度：43回 H22年度：31回(予定) ・ウォーキングロード(すこやかロード)</p>

		の設置（石狩・厚田・浜益それぞれ1ヶ所整備） ・楽しく歩き隊によるウォーキングコースの検討とマップ作成
--	--	--

2 就労の促進

国・道と連携して、地域の企業等への啓発を進めるとともに、就労に関する情報提供をしてきました。また、シルバー人材センターへの支援とともに、これから団塊の世代が新たな高齢者層としてデビューすることを踏まえ、その方たちの経験・知恵・知識等をまちづくりに積極的に活かしていけるようなニューシルバービジネスの育成に努めてきました。

主要施策	施策の内容	進捗状況
1 高齢者雇用啓発の推進	国・道と連携を強め、高齢者への啓発について積極的に取り組んでいきます。	市内約 700 事業所へ「雇用・労働基本調査」を行う際に、企業用リーフレットを郵送した。同調査には高齢者雇用に関する設問を設け、実態の把握に努めた。
2 就労に関する情報提供の推進	高齢者の就労を推進するため、継続して情報提供に努め、就労を希望する高齢者のニーズに応えていきます。	平成 22 年 6 月に庁舎内に「ジョブガイドいしかり」を設置し、求人情報の提供、相談体制の強化に努めた。
3 シルバー人材センターの支援	高齢者の知識や技術・経験を活かした就労、高齢者の生きがい 就労等を推進するシルバー人材センターを支援します。	社団法人石狩市シルバー人材センターに拠出金を交付して、経営の安定化を図った。また、石狩適職フェアにおいて、シルバー人材センターの紹介・PR を行った。
4 ニューシルバービジネス育成の支援	コミュニティビジネス等については、情報提供・相談・啓発講座等の実施により推進していきます。	コミュニティビジネスモデル創出支援事業は平成 19 年度で終了。

第 5 節 高齢者が暮らしやすい魅力あるまちづくりの推進

1 ユニバーサルデザインによるまちづくり

誰もが障壁（バリア）を感じずに市民生活が送れるように、社会参加の機会やサポート体制、あるいは街中の移動空間やシステム等、誰にとっても障壁のないユニバーサルデザインに基づくまちづくりの推進に努めてきました。

主要施策	施策の内容	進捗状況
1 バリアフリーに向けた既存施設の改修	高齢者が安全に外出し、社会参加が出来るよう、公共的建築物や道路、公園のバリアフリー化を推進するため、計画的に既存施設の改修を行います。	【道路】道路は改良工事に合わせてバリアフリー化を行っている。 歩行者専用道路のバリアフリー化については町内会からの要望箇所を順次実施している。 【公園】今後整備する公園についてはバリアフリー化を行っていく。
2 石狩市福祉のまちづくり条例の啓発	全ての市民が一体となって地域福祉を推進するとともに、公共的な施設、情報、サービス等の円滑な利用に配慮した人にやさしいまちづくりを総合的に進めるための基本となる「石狩市福祉のまちづくり条例」の啓発を推進します。	市のホームページに、条例について理解しやすいよう概要版を掲載するほか、H22年度には関係者による編集委員会を組織し、市内にある公共施設や商業施設などのバリアフリー情報を掲載した冊子、「石狩市バリアフリーマップ」を作成・配付し、ノーマライゼーションの普及に努めた。 更には、H21年度より「高齢者等住宅改修費補助金」事業を実施し、市民の住宅のバリアフリー化を支援した。 住宅改修補助金実績 ・H21年度：3件（334,000円） ・H22年度：6件（587,000円）
3 ふれあい雪かき運動の推進	冬期間高齢者が安心して生活できる環境の確保と地域福祉の向上を目指し、町内会が協力して実施するふれあい雪かき運動を推進します。	H20年度：実施団体9団体、対象世帯131世帯 H21年度：実施団体10団体、対象世帯146世帯 H22年度：8団体、対象世帯126世帯
4 除雪サービスの拡充と新規除雪対策事業の創設	除雪が困難な一人暮らし高齢者に対する除雪サービスの拡充と新たな除雪対策事業を検討し、冬期の生活支援を推進します。	H20年度：利用世帯429世帯 H21年度：利用世帯415世帯 H22年度：利用世帯449世帯
5 歩道の除雪等の充実	冬期において、高齢者等が安全に移動できるよう、歩道の除雪等の充実を図ります。	H20年度：歩道除雪延長94.6km H21年度：歩道除雪延長95.3km H22年度：歩道除雪延長95.3km
6 外出支援サービスの推進 【再掲】	一般の交通機関を利用することが困難な在宅の寝たきり高齢者等を対象に、市内医療機関等への送迎をするなど、移動手段を提供する外出支援サービスについて、ニーズにあったサービスへの転換を図るため、他の外出支援サービスや介護タクシーとの関連など、事業内容について検討していきます。【再掲】	H20年度：登録者5人（実利用者1人） H21年度：登録者3人（実利用者1人） H22年度上半期登録者：3人 【再掲】

2 良質な住宅の普及促進

高齢者が安心・安全そして快適に暮らせるように、居住の確保や住宅の機能、設備の充実・改善に向け、関係する事業者などと十分な連携を図るとともに、各種の相談体制の充実に努めてきました。

主要施策	施策の内容	進捗状況
1 公的賃貸住宅の整備の推進	高齢者の生活特性に配慮したバリアフリー化された公営住宅等の整備を行うとともに、生活援助員による日常生活支援サービスを提供する公的賃貸住宅（シルバーハウジング等）の整備推進を図ります。	H20 0件 H21 0件 H22 0件
2 高齢者向け住宅の整備促進 【再掲】	高齢者が地域の中で安心して暮らし続けられるよう、高齢者住宅やケア付き住宅などの高齢者の多様な住まいの整備を促進します。【再掲】	民間事業者の参入により、中・高齢者用賃貸住宅を3棟設置

参考

1 高齢者福祉サービス

高齢者が安心、快適に暮らせるように、各種サービスを行ってきました。

事業名	事業内容	平成 21 年度実績
1 外出支援サービス	65 歳以上の要介護者(要介護4・5)で車いすリフト付き車輛又はストレッチャー付き車両以外で外出が困難な者が、市内の医療機関の通院等をする場合に、これらの移動手段を提供する。	利用者 1 人
2 寝たきり高齢者等理容サービス	寝たきり状態にある 65 歳以上の者等の自宅に理容師又は美容師を派遣して、散髪等を行う。	利用者 8 人
3 寝たきり高齢者等ふとんクリーニングサービス	居宅において寝たきり状態にある 65 歳以上の高齢者等に対し、布団等の寝具の洗濯及び乾燥を行う。	利用者 7 人
4 寝たきり高齢者等紙おむつ給付サービス	寝たきり状態にある 65 歳以上の高齢者等に対し、紙おむつ等を給付する。	利用者 延 535 人(実 122 人)
5 訪問サービス	70 歳以上の一人暮らしの高齢者等の自宅に、1 週間に 3 回訪問し乳酸飲料を手渡すとともに、対話をして高齢者等の安全確認を行う。	利用者 延 704 人(実 63 人)
6 ひとり暮らし高齢者世帯等除雪サービス	除雪が困難な 70 歳以上の高齢者世帯等に、冬期間の生活道路を確保するため、玄関先から公道までの除雪を行う。	利用世帯 延 1,613 世帯(実 415 世帯)
7 緊急通報サービス	70 歳以上の一人暮らしの高齢者等に対し、緊急通報受信センターを電話回線で直結して 24 時間の受信体制をとり、急病、事故等の緊急事態等に迅速な救援活動を行う。	利用世帯 133 世帯
8 配食サービス	65 歳以上で一人暮らしの高齢者等で、食事を作ることが困難な世帯に対して、夕食を自宅に届ける。	利用者 228 人
9 見つけて君(くん)サービス	徘徊を繰り返す 65 歳以上の認知症高齢者や 40 歳以上の初老認知症の方が行方不明になったときの現在地を検索するため、携帯できる小型専用端末機を無償で貸与します。	利用者 7 人
10 福祉利用割引券の交付	70 歳以上の高齢者、又は重度障がい者で、6 ヶ月以上市内に住民登録のある方に対し、福祉利用割引券を交付する。	交付者 6,208 人
11 百歳長寿祝金の交付	市内に在住する年度内に 100 歳になる高齢者に対し、祝金を支給する。	交付者 13 人

資料 2

第 4 期介護保険事業計画の進捗状況について

1 第1号被保険者について

(1) 人口と高齢化率

本市の人口と高齢化率^{*1}は、
図1-1に示すとおり、人口については計画より約500人減、
高齢化率についてはほぼ計画値どおりとなっている。

平成22年と平成15年を比較すると、人口はほぼ横ばい
に対し、高齢化率は4.9%増加している。



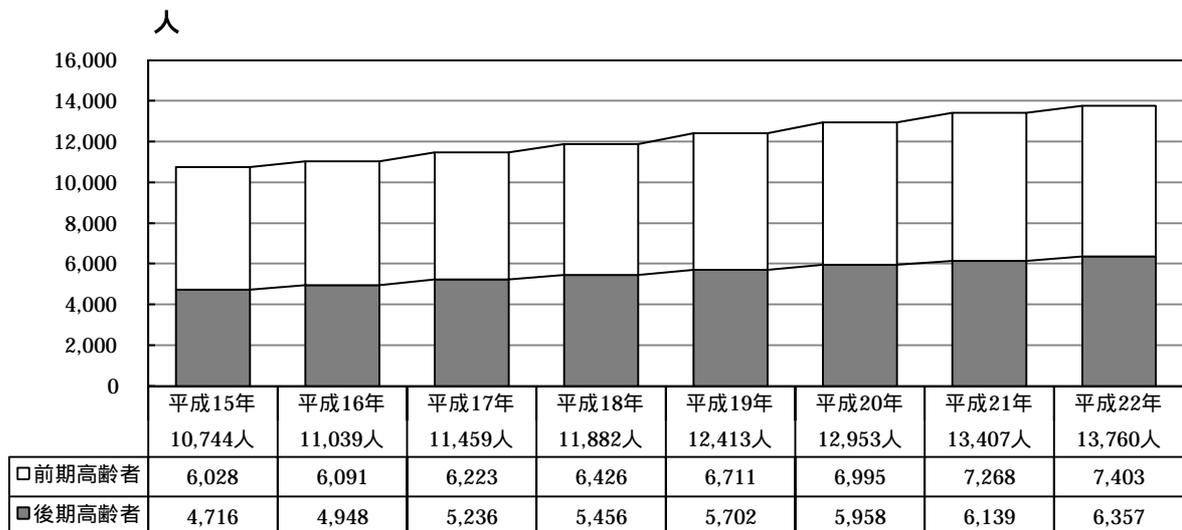
(2) 第1号被保険者の状況

本市の第1号被保険者数は、図1-2に示すとおり、ほぼ計画値どおりとなっている。

第1号被保険者^{*2}は、平成15年から毎年3~4%前後増加し、平成22年と平成15年を比較すると28.1%増加している。

前期高齢者^{*4}と後期高齢者^{*5}の構成比は、平成15年で前期高齢者56.1%、後期高齢者43.9%であったものが、平成22年で前期高齢者53.8%、後期高齢者46.2%となっており、年齢構成が高くなっている。

図1-2 第1号被保険者数



(各年10月1日現在の住民基本台帳)

(3) 今後の見込み

本市の年齢階層別人口（平成22年10月1日）は、図1-3のようになっている。

年齢階層別人口では60歳～64歳の階層が一番多く、6,171人、次いで55歳～59歳5,211人となっている。その中でも図1-4のとおり57歳～63歳の人口が多くなっている。

今後10年間で第1号被保険者の人数が急激に増加するものと見込まれる。

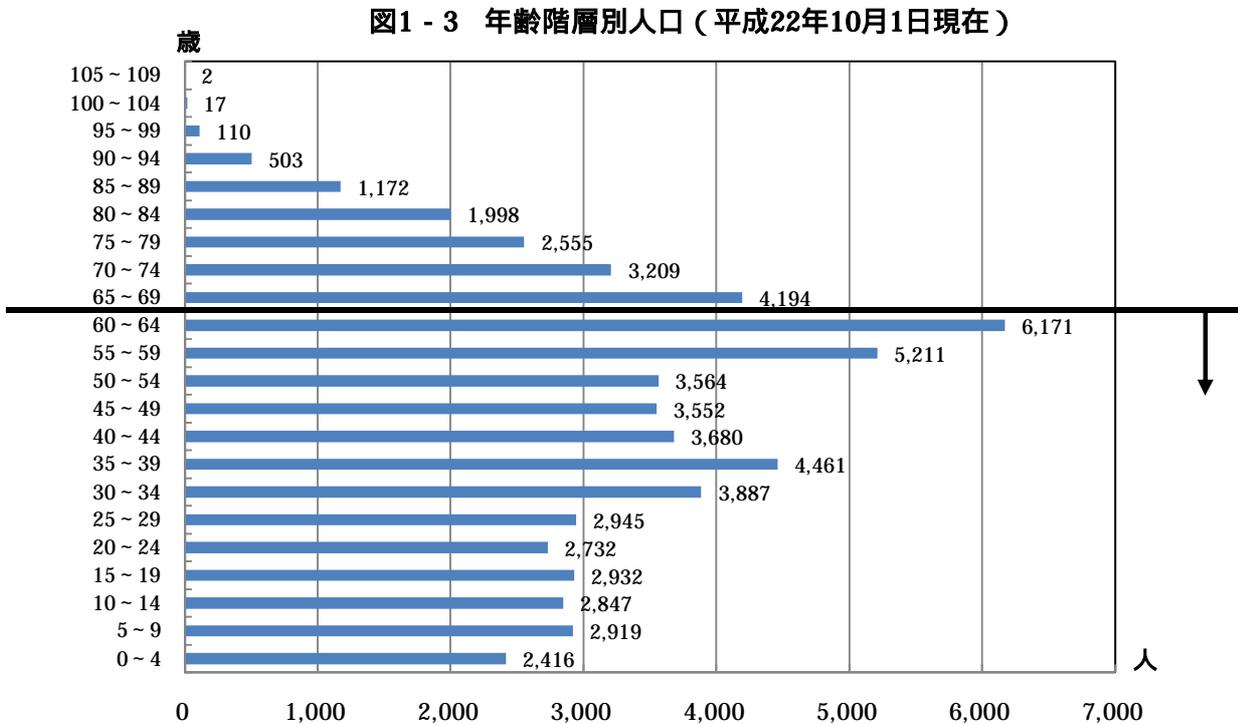


図1-4 55歳～64歳の人口（平成22年10月1日現在）

年齢(歳)	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64
人口(人)	860	921	1,065	1,119	1,246	1,339	1,435	1,375	1,124	898

用語説明

- *1 高齢化率 : 人口に占める65歳以上の人数の割合
- *2 第1号被保険者 : 市に住所を有する65歳以上の方。ただし、住所の有無に関係なく、住所地特例^{*3}の制度がある。
- *3 住所地特例 : 介護保険施設に入所することにより、当該施設所在地に住所を変更したと認められる被保険者については、住所変更以前の住所地市町村の被保険者とする制度。
- *4 前期高齢者 : 65歳以上74歳以下の方
- *5 後期高齢者 : 75歳以上の方

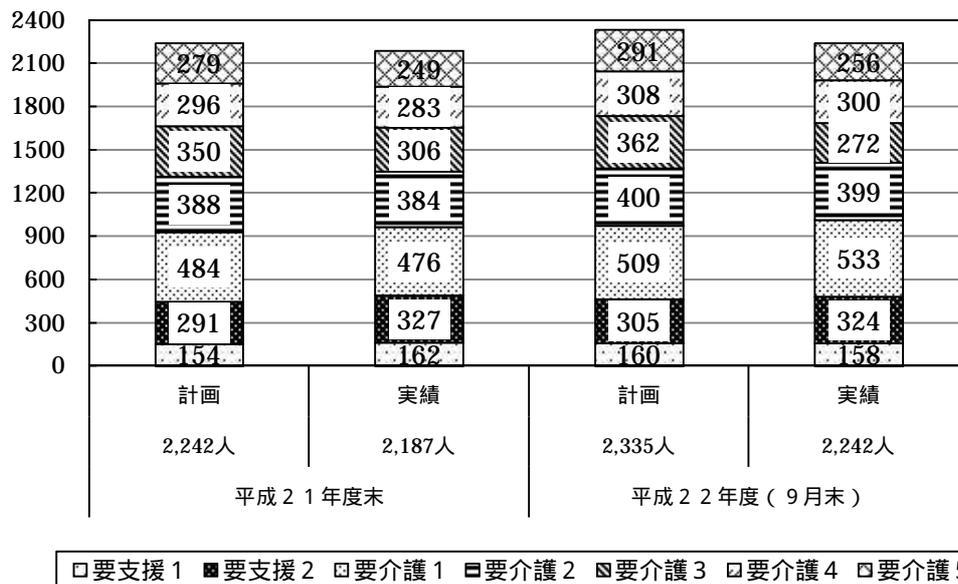
2 要介護等認定者について

(1) 要介護等認定者の状況

要介護等認定者数は、図2-1のとおりとなっている。

計画数と実績を比較すると、平成21年度末で認定者数については、ほぼ計画どおりであるが、計画では、要支援者（要支援1・2）445人、要介護者（要介護1～5）1,797人であり、実績では要支援者489人、要介護者1,698人となっており、計画より要支援者の割合が増加している。本市の人口分布状況からみても要介護等認定者数については、増加し、増加割合も年々高くなると思われる。

図2-1 要介護・要支援認定者数



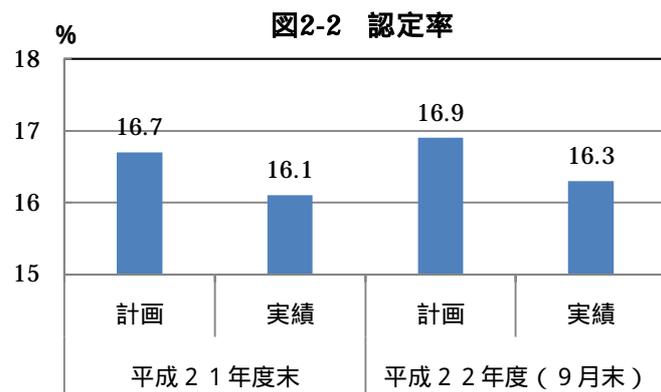
(2) 認定率*6

第1号被保険者の認定率は、

図2-2のとおりである。

第4期計画では、認定率が上がるものと推測した。実績においては平成21年度までは横ばい傾向にあるが、平成22年度では増加に転じている。

平成22年では高齢者6人に1人の割合で認定者となっている。



用語説明 No2

*6 認定率：被保険者数に占める要介護（要支援）認定者の割合

3 地域包括支援センターについて

(1) 地域包括支援センター設置状況

本市の地域包括支援センター設置状況は、図3-1のとおりとなっている。

日常生活圏域として、石狩地区、厚田地区、浜益地区の3圏域を設定し、石狩地区に2箇所、厚田・浜益地区に各1箇所の地域包括支援センターを設置している。4箇所のうち、3箇所は市の直営で1箇所は委託している。

図3-1 地域包括支援センター設置状況

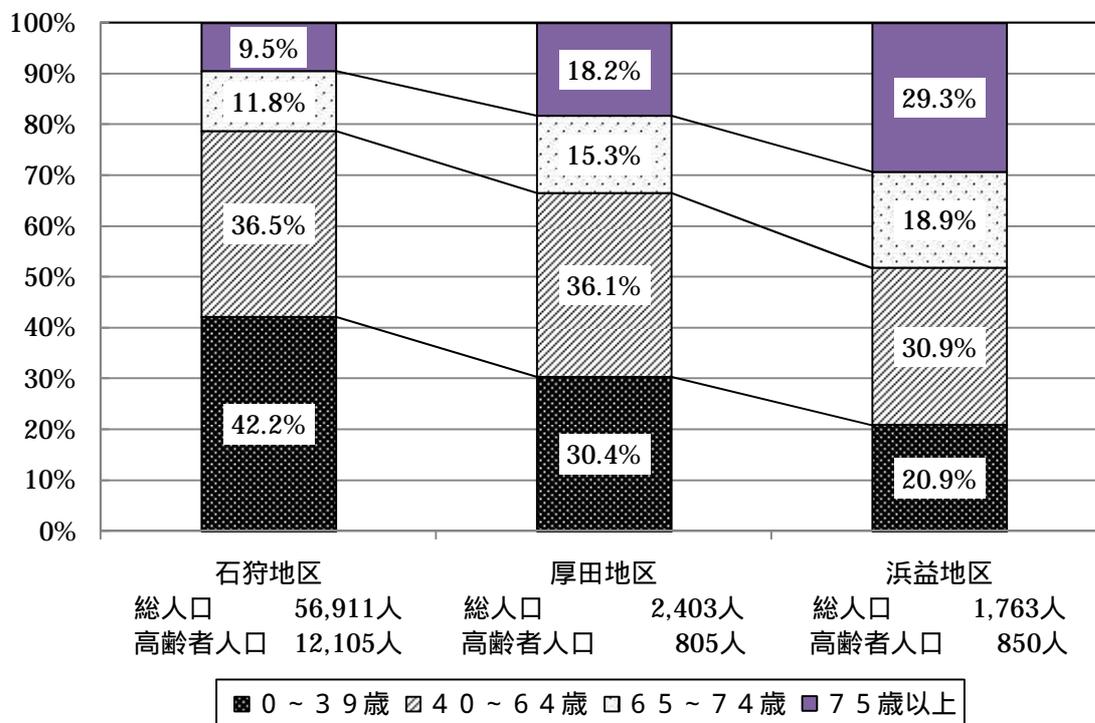
圏域	名称	運営主体	運営形態
石狩	石狩市花川北地域包括支援センター	石狩市	直営
	石狩市地域包括支援センターホットライン 21	医療法人 喬成会	委託
厚田	石狩市厚田地域包括支援センター	石狩市	直営
浜益	石狩市浜益地域包括支援センター	石狩市	直営

(2) 日常生活圏域ごとの人口

日常生活圏域ごとの人口の年齢階層別構成比率は図3-2のとおりとなっている。

高齢化率は、石狩地区で21.3%、厚田地区で33.5%、浜益地区で48.2%となっている。

図3-2 圏域別人口構成比率



(平成22年10月1日現在の住民基本台帳)

(3) 日常生活圏域ごとの要介護等認定者の状況

日常生活圏域ごとの要介護等認定者数は図3-3のとおりとなっている。

図3-3 圏域別要介護等認定者数(平成22年9月末)

圏域	介護予防			要介護						合計
	要支援1	要支援2	小計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小計	
石狩	131	287	418	474	337	232	252	203	1,498	1,916
厚田	5	12	17	23	40	17	21	26	127	144
浜益	18	21	39	27	19	18	21	17	102	141
合計	158	324	482	533	399	272	300	256	1,760	2,242

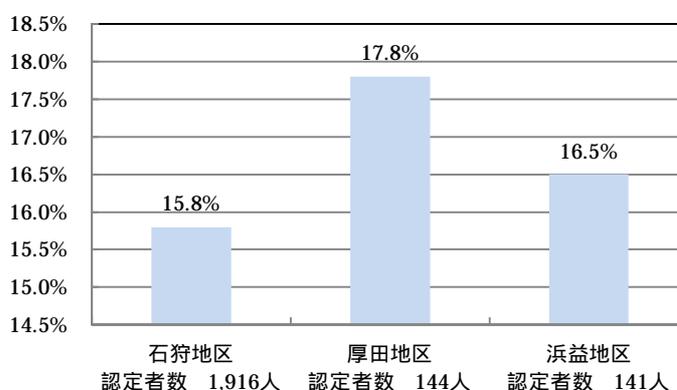
(単位:人)

圏域別の認定率は図3-4

のとおりとなっており、厚田地区の17.8%が一番高く、次いで浜益地区の16.5%、一番低かったのが石狩地区15.8%となっている。

全体の認定率は15.9%となっている。

図3-4 圏域別認定率



(4) 日常生活圏域ごとのサービス計画作成状況

日常生活圏域ごとのサービス計画作成状況は図3-5のとおりとなっている。

図3-5 圏域別サービス計画作成数(平成22年9月分)

圏域	介護予防サービス計画	居宅サービス計画	合計
石狩	244	677	921
厚田	13	35	48
浜益	27	30	57
合計	284	742	1026

また、介護予防サービス計画の地域包括支援センターごとの作成数は図3-6のとおりとなっている。

図3-6 センター別サービス計画作成数(平成22年9月分)

名称	計画作成件数	うちセンターで作成	うち居宅介護支援事業所に委託
石狩市花川北地域包括支援センター	15	9	6
石狩市地域包括支援センターホットライン21	229	156	73
石狩市厚田地域包括支援センター	13	9	4
石狩市浜益地域包括支援センター	27	27	0
合計	284	201	83

4 介護サービス利用の実績

(1) 各サービス別利用人数

各サービス別利用人数は図4-1のとおりとなっている。

図4-1 介護（介護予防含む）サービス別利用人数（月間平均）

(単位:人)

No.	サービス区分	平成21年度(年度末)			平成22年度(9月末)			平成23年度
		計画	実績	計画対比	計画	実績	計画対比	計画
1	訪問介護	322	330	102.5%	329	351	106.7%	342
2	訪問入浴	23	21	91.3%	23	21	91.3%	24
3	訪問看護	131	125	95.4%	131	150	114.5%	136
4	訪問リハビリ	44	37	84.1%	44	25	56.8%	46
5	居宅療養管理	122	129	105.7%	122	144	118.0%	126
6	通所介護	371	380	102.4%	376	394	104.8%	381
7	通所リハビリ	268	254	94.8%	269	266	98.9%	276
8	短期入所生活介護	58	56	96.6%	57	63	110.5%	57
9	短期入所療養介護	49	37	75.5%	48	37	77.1%	48
10	特定施設入居者生活介護	44	44	100.0%	50	46	92.0%	53
11	福祉用具貸与	303	346	114.2%	306	393	128.4%	316
12	福祉用具販売	15	15	100.0%	15	16	106.7%	15
13	夜間対応型訪問介護	0	0	-	0	0	-	0
14	認知症対応型通所介護	30	24	80.0%	30	25	83.3%	31
15	小規模多機能型居宅介護	8	0	0%	16	6	37.5%	24
16	認知症対応共同生活介護	169	163	96.4%	188	183	97.3%	212
17	地域密着型特定施設入居者生活介護	0	0	-	0	0	-	0
18	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	20	20	100.0%	49	20	40.8%	49
19	住宅改修	15	17	113.3%	15	18	120.0%	15
20	居宅介護支援	978	965	98.7%	1,002	1,009	100.7%	1039
21	介護老人福祉施設	219	229	104.6%	221	222	100.5%	223
22	介護老人保健施設	143	127	88.8%	146	116	79.5%	150
23	介護療養型医療施設	78	72	92.3%	75	66	88.0%	71

計画との比較でみると、地域密着型サービスの小規模多機能型居宅介護については、平成22年4月1日開設となったため、平成21年度では、サービス利用は0人となっている。また、地域密着型サービスの介護老人福祉施設入所者生活介護（定員29人以下）については、平成21年5月に公募を行ったが、進出事業所がなかったため、平成21年11月に再度の公募をし、平成23年3月開設予定となっており、平成22年度9月末現在実績が低くなっている。

また、第3期計画において償還払いが原則のため計画よりも低くなっていた住宅改修・福祉用具販売の値は、平成20年4月1日より受領委任払い制度を導入し、金銭面での負担が少なくなったこと等から、利用者が増加している（平成18年度末実績：福祉用具販売8人、住宅改修9人、平成19年度9月末：福祉用具販売11人、住宅改修：9人）

予防サービス・介護サービス別利用人数は図4-2・図4-3のとおりとなっている。

図4-2 予防サービス別利用人数（月間平均）

(単位:人)

No.	サービス区分	平成21年度(年度末)			平成22年度(9月末)			平成23年度
		計画	実績	計画対比	計画	実績	計画対比	計画
1	介護予防訪問介護	74	86	116.2%	77	95	123.4%	81
2	介護予防訪問入浴	0	0	-	0	0	-	0
3	介護予防訪問看護	12	15	125.0%	12	21	175.0%	12
4	介護予防訪問リハビリ	4	3	75.0%	4	0	0%	4
5	介護予防居宅療養管理	2	1	50.0%	2	5	250.0%	2
6	介護予防通所介護	92	103	112.0%	92	109	118.5%	93
7	介護予防通所リハビリ	51	68	133.3%	50	63	126.0%	52
8	介護予防短期入所生活介護	2	3	150.0%	2	3	150.0%	2
9	介護予防短期入所療養介護	2	2	100.0%	2	4	200.0%	2
10	介護予防特定施設入居者生活介護	4	5	125.0%	5	4	80.0%	5
11	介護予防福祉用具貸与	35	52	148.6%	37	64	173.0%	38
12	介護予防福祉用具販売	3	5	166.7%	3	5	166.7%	3
13	介護予防認知症対応型通所介護	0	0	-	0	0	-	0
14	介護予防小規模多機能型居宅介護	3	0	0%	6	1	16.7%	9
15	介護予防認知症対応型共同生活介護	1	0	0%	1	0	0%	2
16	介護予防住宅改修	4	5	125.0%	4	5	125.0%	4
17	介護予防居宅介護支援	240	271	112.9%	250	285	114.0%	262

図4-3 介護サービス別利用人数（月間平均）

(単位:人)

No.	サービス区分	平成21年度(年度末)			平成22年度(9月末)			平成23年度
		計画	実績	計画対比	計画	実績	計画対比	計画
1	訪問介護	248	245	98.8%	252	256	101.6%	261
2	訪問入浴	23	21	91.3%	23	21	91.3%	24
3	訪問看護	119	110	92.4%	119	129	108.4%	124
4	訪問リハビリ	40	34	85.0%	40	25	62.5%	42
5	居宅療養管理	120	128	106.7%	120	139	115.8%	124
6	通所介護	279	277	99.3%	284	286	100.7%	288
7	通所リハビリ	217	186	85.7%	219	203	92.7%	224
8	短期入所生活介護	56	53	94.6%	55	60	109.1%	55
9	短期入所療養介護	47	35	74.5%	46	34	73.9%	46
10	特定施設入居者生活介護	40	40	100.0%	45	42	93.3%	48
11	福祉用具貸与	268	294	109.7%	269	329	122.3%	278
12	福祉用具販売	12	10	83.3%	12	11	91.7%	12
13	夜間対応型訪問介護	0	0	-	0	0	-	0
14	認知症対応型通所介護	30	24	80.0%	30	25	83.3%	31
15	小規模多機能型居宅介護	5	0	0%	10	5	50.0%	15
16	認知症対応型共同生活介護	168	163	97.0%	187	183	97.9%	210
17	地域密着型特定施設入居者生活介護	0	0	-	0	0	-	0
18	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	20	20	100.0%	49	20	40.8%	49
19	住宅改修	11	12	109.1%	11	13	118.2%	11
20	居宅介護支援	738	695	94.2%	752	725	96.4%	777
21	介護老人福祉施設	219	229	104.6%	221	222	100.5%	223
22	介護老人保健施設	143	127	88.8%	146	116	79.5%	150
23	介護療養型医療施設	78	72	92.3%	75	66	88.0%	71

5 介護給付費の状況

(1) 介護給付費（介護予防含む）の状況

介護給付費の状況は図5-1のとおりとなっている。

計画をもとに編成した予算と比較すると、平成21年度では、全体の執行率98.1%となっており、計画どおり執行されている。

また、平成22年度については、年度の半分が経過した時点での執行率が48.2%であり、若干計画を下回っている。

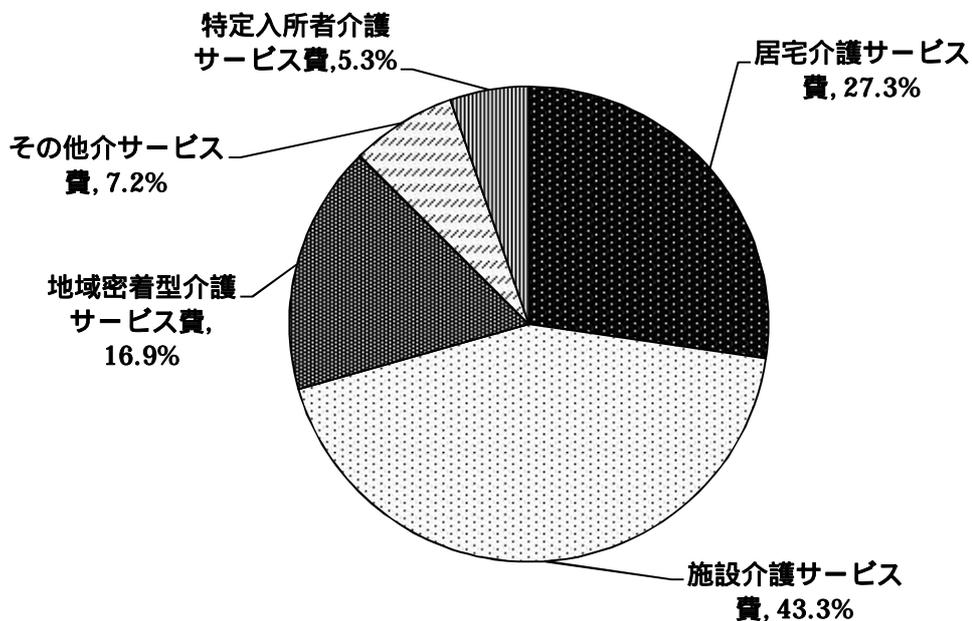
なお、平成21年度の介護給付費（介護予防含む）の構成割合は図5-2のとおりとなっている。

図5-1 介護給付費（介護予防含む）の状況

(単位:千円)

介護給付費(介護予防含む)	平成21年度			平成22年度10月末		
	予算	実績	執行率	予算	実績	執行率
居宅サービス費	761,139	865,956	113.7	765,473	473,107	61.8
施設サービス費	1,511,489	1,371,354	90.7	1,528,731	651,638	42.6
地域密着型サービス費	582,402	535,329	91.9	732,952	296,068	40.3
その他サービス費	211,057	229,052	108.5	214,218	140,433	65.5
特定入所者サービス費	165,000	168,495	102.1	165,000	83,399	50.5
合計	3,231,087	3,170,186	98.1	3,406,374	1,644,645	48.2

図5-2 平成21年度介護給付費構成割合



6 地域支援事業の状況

(1) 地域支援事業の概要

地域支援事業は、できるだけ地域住民が要介護・要支援とならないように、また、要介護・要支援となっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるように、支援する事業で「要介護・要支援になるおそれのある方」(二次予防事業対象者^{*7})への介護予防プログラムの提供、年1回の健診等を通じて要介護・要支援になるおそれがないかどうかの定期的なチェック、虐待防止・早期発見を含む権利擁護や総合相談・介護以外の生活支援サービスとの調整などを行う。事業内容の詳細は下記のとおりとなっている。

1. 介護予防事業

(1) 二次予防事業対象

a. 二次予防事業対象者把握

ア. 二次予防事業対象者把握事業

加齢等による心身の生活機能の低下している高齢者を早期に発見し、介護予防のための効果的な対策を早期に行えるようにする。

平成 21 年度実績：

基本チェックリスト実施数 1,168 人、生活機能評価受診数 1,029 人
二次予防事業対象者数 118 人、二次予防事業対象者実態把握(委託) 8 件

平成 22 年度上半期実績：

基本チェックリスト実施数 703 人、生活機能評価受診数 660 人
二次予防事業対象者数 79 人、二次予防事業対象者実態把握(委託) 7 件

b. 通所型介護予防

ア. パワーリハビリテーション事業

マシンを使用した筋力トレーニング、及びバランストレーニングを実施し、日常生活動作能力の改善を図る。

平成 21 年度実績：3クール 72 回、延 439 人

平成 22 年度上半期実績：1クール終了、2クール途中、31 回、延 163 人)

用語説明 No3

二次予防事業対象者：要支援・要介護になるおそれのある高齢者のこと。基本チェックリスト等を実施し、“生活機能の低下がある”と認められれば「二次予防事業対象者」となる。

第二次予防事業対象者と認められれば、「介護予防プログラム」を受けることができる。

イ．二次予防事業対象者施策事業

ミニデイサービスとして、軽体操や趣味活動、季節行事等を実施し、生きがい・仲間作りを促し、自立した生活を送れるよう支援する。

平成 21 年度実績：43 回、延 353 人
平成 22 年度上半期実績：20 回、延 152 人

ウ．訪問指導事業

閉じこもり、認知症、うつ等のおそれがある（又はこれらの状態にある）高齢者を対象に保健師等が訪問し、必要な相談・指導を実施する。

平成 21 年度実績：延 209 人
平成 22 年度上半期実績：延 58 人

エ．食の自立支援事業

食事を作ることが困難な 65 歳以上の在宅の高齢者等に対し、月曜日から金曜日までの曜日のうち希望に応じて、夕食のサービスを提供する。

平成 21 年度実績：利用者数 220 人 配食数 26,791 食
平成 22 年度実績上半期実績：利用者数 166 人 配食数 12,417 食

(2) 一次予防事業対象者施策

a. 地域介護予防活動

ア．住民グループ支援事業補助金

市内に居住する 65 歳以上の高齢者等が少人数で参加するふれあいサロン（仲間づくり等を中心に健康や趣味を行う）を行う町内会等に対して、その経費の一部を助成する。

平成 21 年度実績：2 団体、34 回、延 931 人
平成 22 年度上半期実績：4 団体

イ．生活管理指導員派遣・指導短期宿泊推進事業

・いきいきホームヘルプ

市内に居住する 65 歳以上の高齢者等で、介護保険法による要支援や要介護に該当しない者であって他の代替サービスが利用できないものに対し、ホームヘルパーが出向き、食事の世話、衣類の洗濯等のサービスを提供する。

・いきがいショートステイ

市内に居住する 65 歳以上の者で医師等の特別な治療を必要としないもので、かつ、介護保険法による要支援や要介護に該当しないものに対し、短期間の入所のサービスを提供する。

【いきいきホームヘルプ】

平成 21 年度実績：利用者 4 人

平成 22 年度上半期実績：利用者 3 人

【いきがいショートステイ】

平成 21 年度実績：利用者 0 人

平成 22 年度上半期実績：利用者 0 人

ウ．一次予防事業対象者機能訓練事業

・おげんき塾（石狩）

地域の会館を利用し、介護予防を目的に自主的に継続して活動できるよう健康講話やレクリエーション等支援を実施する。

平成 21 年度実績：37 回、延 407 人

平成 22 年度上半期実績：21 回、延 219 人

・健口教室（石狩）

高齢者が口腔ケアの知識を持ち、方法を学ぶことで、口腔衛生の向上を図る。

平成 21 年度実績：4 回、延 16 人

平成 22 年度上半期実績：4 回、延 19 人

・太極拳教室

比較的取り組みやすい運動である太極拳の普及により、高齢者の筋力・バランス能力の向上を図り、転倒予防・介護予防を図る。

平成 21 年度実績：20 回、235 人

平成 22 年度上半期実績：10 回、延 66 人

・結果説明会（石狩）

生活機能評価結果についての説明・相談、介護予防のアドバイスを実施。

平成 21 年度実績：4 回、延 117 人

平成 22 年度上半期実績：3 回、延 54 人

・健康運動個別指導（フリープラン）

安全で効果的な運動を身に付けることで健康を維持し、自立した生活を送ることを目的に運動指導員が個々人の体力や目的にあった運動プログラムを提供、健康増進室のマシーンを利用して個別に運動指導を行なう。

平成 21 年度実績：247 回、延 1,870 人

平成 22 年度上半期実績：127 回、延 929 人

・地区高齢者健康教室

(石狩)各地区の高齢者クラブや団体等からの依頼により健康に関する講話や相談等を実施する。

(厚田)健康教育を実施し高齢者の健康増進、介護予防を図る。

平成 21 年度実績 : (石狩) 28 回、延 639 人
(厚田) 30 回、延 517 人
平成 22 年度上半期実績 : (石狩) 12 回、延 271 人
(厚田) 14 回、延 214 人

・転倒予防教室

(厚田)保健センターにおいて、ボールやタオルを用いた筋力トレーニング、ストレッチ体操を実施することで、高齢者の転倒を予防し、健康維持できるよう支援する。

(浜益)各地区の老人クラブの活動日にあわせて実施。筋力トレーニングや健康相談等を実施し、高齢者が介護予防の知識を持ち、健康維持できるよう支援する。

平成 21 年度実績 : (厚田) 28 回、延 588 人
(浜益) 46 回、延 551 人
平成 22 年度上半期実績 : (厚田) 16 回、延 330 人
(浜益) 27 回、延 271 人

・認知症予防教室

(厚田)脳健康教室 : くもん学習療法を取り入れ、認知症予防を図る。

(浜益)いきいき楽習 : くもん学習療法を取り入れ、認知症予防を図る。

平成 21 年度実績 : (厚田) 24 回、延 244 人
(浜益) 25 回、延 281 人
平成 22 年度上半期実績 : (厚田) 17 回、延 164 人
(浜益) 17 回、延 79 人

・いきいきりハビリ(厚田)

虚弱、閉じこもりがちな高齢者の心身活性化と健康保持を図り、要介護状態になることを予防する。

平成 21 年度実績 : 36 回、延 287 人
平成 22 年度上半期実績 : 18 回、延 163 人

・リハビリ教室（浜益）

在宅高齢者が健康でいきいきとした生活が送れるように介護予防を図る。

平成 21 年度実績：24 回、延 410 人
平成 22 年度上半期実績：11 回、延 225 人

・はつらつ運動教室（浜益）

運動不足になりがちな冬季間に健康的な生活を送るために、ストレッチ体操・ボール運動・ラダー運動等を実施することで、運動を生活に取り入れることができるよう支援する。

平成 21 年度実績：11 回、延 173 人
平成 22 年度上半期実績：実施前につき実績なし

・骨太教室（浜益）

骨粗しょう症予防のための学習と調理実習を実施する。

平成 21 年度実績：2 回、延 15 人
平成 22 年度上半期実績：実施前につき実績なし

・浜益！男塾（浜益）

男性高齢者同士が楽しみながら交流できる場所を提供し、引きこもりを予防する。

平成 21 年度実績：5 回、延 63 人
平成 22 年度上半期実績：2 回、延 32 人

エ．一次予防施策事業

高齢者が、寝たきりにならず自宅でいつまでも元気で暮らせるように、介護予防の啓発、軽体操、レクリエーション等による介護予防教室を開催する（委託）。

平成 21 年度実績：8 回、延 336 人
平成 22 年度上半期実績：1 回、延 42 人

オ．高齢者健康推進事業

高齢者等の体力の維持・増進を図るためにスポーツ大会を実施する。

平成 21 年度実績：参加者人数 563 人
平成 22 年度実績：参加者人数 627 人

カ．高齢者生きがいづくり推進事業

・横町寿の家

寿の家において、陶芸教室、舞踊・リズム体操教室を開催する。

平成 21 年度実績：（陶芸教室）延 327 人 （舞踊）延 658 人
平成 22 年度上半期実績：（陶芸教室）延 176 人

・花川北憩の家

花川北憩の家において、陶芸教室を開催する。

平成 21 年度実績：(陶芸教室) 延 3,028 人
平成 22 年度上半期実績：(陶芸教室) 延 1,533 人

・ふれあい農園

市内の 2 箇所に農園を設置して、希望者に対して農園を貸与し、作物を栽培(収穫)してもらう。

平成 21 年度実績：130 人
平成 22 年度実績：130 人

キ．地域住民グループ支援助事業

高齢者の閉じこもりを予防するため、市民が自ら企画、取材、編集等を行い高齢者が外出するきっかけとなるような情報の発信を行うこととして情報誌等の発行を行う。

平成 21 年度実績：情報誌を年 4 回発行
平成 22 年度上半期実績：情報誌を 2 回発行(年 4 回発行予定)

2．包括的支援事業

ア．地域包括支援センター運営協議会

石狩市における地域包括支援センターの公正性及び中立性の確保その他センターの円滑かつ適正な運営を図るため、石狩市地域包括支援センター運営協議会を設置する。

平成 21 年度実績：開催回数 2 回
平成 22 年度上半期実績：開催回数 1 回

イ．高齢者実態把握事業

出来る限り寝たきり等の要介護状態にならないよう、在宅の要援護高齢者の心身状態及びその家族の状況の実態を把握する。

平成 21 年度実績：23 件
平成 22 年度上半期実績：12 件

ウ．権利擁護事業

高齢者の権利擁護を図るため、成年後見制度、権利擁護事業の紹介や高齢者虐待の防止や早期発見につとめます。

平成 21 年度実績

高齢者虐待新規相談数 22 件（虐待新規認定数 11 件）

高齢者虐待防止ネットワーク会議（全体会議） 1 回

高齢者虐待防止ネットワークケース検討会議 13 回

高齢者防犯連絡網の活用 18 回

平成 22 年度上半期実績

高齢者虐待新規相談数 8 件（虐待新規認定数 2 件）

高齢者虐待防止ネットワーク会議（全体会議） 0 回 10 月 15 日開催

高齢者虐待防止ネットワークケース検討会議 4 回

エ．総合相談事業

高齢者やその家族が抱える、介護や心配ごとに関する相談を地域包括支援センターが窓口となり支援する。

平成 21 年度実績：相談数（延件数） 3,505 件

平成 22 年度上半期実績：相談数（延件数） 1,812 件

オ．包括的継続的ケアマネジメント事業

高齢者に適切なサービスが提供されるよう、地域のケアマネジャーに対し支援や指導を行う。

平成 21 年度実績

居宅介護支援事業所訪問（石狩）8 か所 （平成 22 年度上半期 0 か所）

居宅ケアマネの集い 1 回（石狩） （平成 22 年度上半期 0 か所）

居宅介護支援専門員連絡会議 3 回（石狩）（平成 22 年度 中止し地域ケア会議で集約）

介護保険事業所関係者連絡会議 24 回（厚田）（平成 22 年度上半期 12 回）

居宅介護支援事業所訪問 6 回（厚田） （平成 22 年度上半期 3 回）

浜ケアネット 8 回（浜益） （平成 22 年度上半期 5 回）

浜ケアネット学習交流会 3 回（浜益） （平成 22 年度上半期 1 回）

3. 任意事業

ア. 紙おむつ支給事業

65歳以上の在宅の寝たきり高齢者等に対し、紙おむつの一部を給付し、その者の保健衛生の向上と家庭の経済的負担の軽減を図る。

平成21年度実績：利用者数 101人
平成22年度上半期実績：利用者数 94人

イ. 徘徊高齢者家族支援事業

市内に在住する65歳以上の認知高齢者等で徘徊を繰り返す者を介護している家族に、徘徊認知症高齢者等検索機器等を貸与する。

平成21年度実績：利用者数 7人
平成22年度上半期実績：利用者数 7人

ウ. 成年後見人制度等利用支援事業

判断能力が十分でない高齢者に対して、成年後見人制度の利用支援を行う。

平成21年度実績：相談数（実件数） 13件
内訳（法定後見9件、任意後見2件、権利擁護事業2件）
平成22年度上半期実績：相談数（実件数） 8件

エ. 住宅改修支援事業

担当の居宅介護（介護予防）支援専門員がいない要介護者等の住宅改修費支給申請を円滑に行うことを目的とし、「住宅改修が必要な理由書」を作成した居宅介護（介護予防）支援専門員に手数料を支給し支援する。

平成21年度実績：対象者 7人
平成22年度上半期実績：対象者 4人

オ. 地域自立生活支援事業

・介護相談員派遣

適正な介護保険サービスが提供されるように介護相談員が利用者や事業所の橋渡しを行うため訪問活動等を行う。

平成21年度実績： 市内介護保険施設 5か所 延72回訪問
市内グループホーム 14か所 延18回訪問
個別訪問 258件
平成22年度上半期実績：
市内介護保険施設 5か所 延41回訪問
市内グループホーム 16か所 延17回訪問
個別訪問 112件

・配食サービス

食事をすることが困難な65歳以上の在宅の高齢者等に対し、月曜日から金曜日までの曜日のうち希望に応じて、夕食のサービスを提供する。

平成21年度実績：利用者数 220人 配食数 26,791食

平成22年度実績上半期実績：利用者数 166人 配食数 12,417食

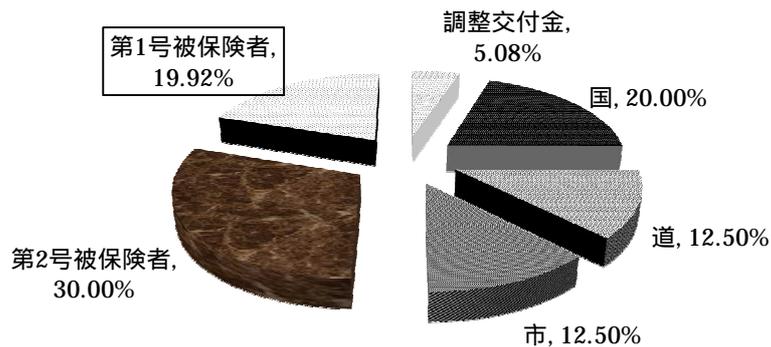
7 介護保険料について

(1) 算定方法

3年間の標準給付費見込額を各負担割合に当る額を負担することとなり、第4期の計画においては第1号被保険者が負担する標準割合は、平成21年度で19.92%となった。

標準給付費見込額を3カ年の推計した65歳以上の被保険者数で除したものが介護保険料となっている。

図7-1 第4期事業計画負担割合



(2) 石狩市の介護保険料

石狩市の介護保険料は図7-2のとおりとなっている。

第4段階（市民税課税世帯で本人市民税非課税）の保険料を基準に、第4段階特例9%、第3段階25%、第2・第1段階で50%の減額、第5段階16%、第6段階25%、第7段階50%、第8段階75%の増額となる。

図7-2 介護保険料所得段階別第1号被保険者数

		第1段階	第2段階	第3段階	第4段階		第5段階	第6段階	第7段階	第8段階	合計
					特例	基準					
平成21年度 (年度末)	保険料月額	2,150	2,150	3,225	3,912.5	4,300	4,987.5	5,375	6,450	7,525	
	人数	227	2,800	1,723	3,926		1,426	1,784	1,320	402	13,608
	割合	1.7%	20.6%	12.7%	28.8%		10.5%	13.1%	9.7%	2.9%	100.0%
平成22年度 (4月1日時点)	保険料月額	2,150	2,150	3,225	3,912.5	4,300	4,987.5	5,375	6,450	7,525	
	人数	246	2,986	1,904	3,746		1,420	1,770	1,199	339	13,610
	割合	1.8%	22.0%	14.0%	27.5%		10.4%	13.0%	8.8%	2.5%	100.0%

資料3

介護サービス等意向調査について

実施する調査について

1 実施する調査

高齢者一般調査

介護サービス利用者・未利用者調査

2 実施調査の目的

高齢者一般調査

・高齢者保健福祉計画及び第5期介護保険事業計画を作成する上において、高齢者の現況を把握し、保健福祉サービスの必要性、サービスのあり方を検討する資料とする。

介護サービス利用者・未利用者調査

・高齢者保健福祉計画及び第5期介護保険事業計画を作成する上において、介護サービス量の見込み、新たなサービスの必要性、サービス提供のあり方（提供地域、サービスの質の向上）を検討する資料とする。

3 調査の対象者

高齢者一般調査

・市内に居住する65歳以上の高齢者1,300人（石狩地区1,000人 厚田・浜益区各150人）を抽出

介護サービス利用者・未利用者調査

・市の介護保険被保険者として資格を有し、要支援・要介護認定を受けているもの1,000人を抽出

1. 高齡者一般調査

(宛名ラベル)

日常生活圏域ニーズ調査(案)

【調査票】

この調査票は、高齢者の保健・福祉サービスや、介護保険に関する内容のものです。

調査票記入後は、3つ折りにし同封の返信用封筒に入れて、
月 日()までに投函してください。

記入日	平成 年 月 日
あて名のご本人の情報	年齢()歳 男・女
調査票を記入されたのはどなたですか。をつけてください。 1. あて名のご本人が記入 2. ご家族が記入 (あて名のご本人からみた続柄) 3. その他	

石狩市高齢者支援課

は じ め に

皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

日頃から石狩市介護保険事業にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

石狩市では、皆様のご意見やご要望を幅広くお聞きし、平成23年度策定予定の「石狩市高齢者保健福祉計画・第5期介護保険事業計画」に反映させていくために、高齢者福祉全般の調査を実施します。

この調査票は、国から示された案を基に作成しており、平成 年 月 日現在65歳以上の方の中から無作為に抽出し、 人の方にお送りしております。調査票が届いた方は調査へのご協力をお願いいたします。

なお、この調査票の結果、将来介護を必要とする可能性が高いと判断された方に対しては、地域包括支援センターから、介護予防事業等のご案内をさせていただく場合がございます。

なお、収集した個人情報健康情報という利用者様にとって大切な個人情報であるという認識にたち、石狩市個人情報保護条例に基づく適正な取扱いを行います。

記 入 に 際 し て の お 願 い

1. この調査の対象者は、平成 年 月 日現在、65歳以上の方です。
2. ご回答にあたっては表紙ラベルのあて名のご本人についてお答えいただきますが、ご家族の方がご本人の代わりに回答されたり、ご一緒に回答されてもかまいません。
3. ご回答にあたっては質問をよくお読みいただき、該当する番号を で囲み、数字を記入する欄は右詰め(例.

0	6	2
---	---	---

 kg)でご記入ください。
4. この調査で使う用語の意味は、以下の通りです。
介護...介護保険のサービスを受けている場合のほか、認定を受けていない場合でも、常時ご家族などの援助を受けている状態
介助...ご自分の意思により、一時的に他人に援助を頼んでいる状態
5. この調査についてのお問い合わせは下記までお願いいたします。
6. 調査票記入後は、3つ折りで同封の返信用封筒に入れてお送りください。

問合せ先 石狩市高齢者支援課
電話(直通) 72-6121

問2 運動・閉じこもりについて		
Q1. 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	1. はい	2. いいえ
Q2. 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	1. はい	2. いいえ
Q3. 15分位続けて歩いていますか	1. はい	2. いいえ
Q4. 5m以上歩けますか	1. はい	2. いいえ
Q5. 週に1回以上は外出していますか	1. はい	2. いいえ
Q6. 昨年と比べて外出の回数が減っていますか	1. はい	2. いいえ
Q7. 外出を控えていますか	1. はい	2. いいえ
Q7-1. (外出を控えている方のみ) 外出を控えている理由は、次のどれですか(いくつでも)		
1. 病気 2. 障がい(脳卒中の後遺症など) 3. 足腰などの痛み 4. トイレの心配(失禁など)		
5. 耳の障がい(聞こえの問題など) 6. 目の障がい 7. 外での楽しみがない		
8. 経済的に出られない 9. その他()		
Q8. 買物、散歩で外出する頻度はどのくらいですか(それぞれ1つ)		
A. 買物... 1. ほぼ毎日 2. 週4, 5日 3. 週2, 3日 4. 週1日 5. 週1日未満		
B. 散歩... 1. ほぼ毎日 2. 週4, 5日 3. 週2, 3日 4. 週1日 5. 週1日未満		
Q9. 外出する際の移動手段は何ですか(いくつでも)		
1. 徒歩 2. 自転車 3. バイク 4. 自動車(自分で運転) 5. 自動車(人に乗せてもらう)		
6. 電車 7. 路線バス 8. 病院や施設のバス 9. 車いす 10. 電動車いす(カート)		
11. 歩行器・シルバーカー 12. タクシー 13. その他()		

問3 転倒予防について		
Q1. この1年間に転んだことがありますか	1. はい	2. いいえ
Q2. 転倒に対する不安は大きいですか	1. はい	2. いいえ
Q3. 背中が丸くなってきましたか	1. はい	2. いいえ
Q4. 以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか	1. はい	2. いいえ
Q5. 杖を使っていますか	1. はい	2. いいえ

問4 口腔・栄養について		
Q1 . 6カ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	1 . はい	2 . いいえ
Q2 . 身長 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> cm	体重 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> kg	
Q3 . 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1 . はい	2 . いいえ
Q4 . お茶や汁物等でむせることがありますか	1 . はい	2 . いいえ
Q5 . 口の湯きが気になりますか	1 . はい	2 . いいえ
Q6 . 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか	1 . はい	2 . いいえ
Q7 . 定期的に歯科受診（健診を含む）をしていますか	1 . はい	2 . いいえ
Q8 . 入れ歯を使用していますか	1 . はい	2 . いいえ 問5へ
Q8 - 1 .（入れ歯のある方のみ）噛み合わせは良いですか	1 . はい	2 . いいえ
Q8 - 2 .（入れ歯のある方のみ）毎日入れ歯の手入れをしていますか	1 . はい	2 . いいえ

問5 物忘れについて		
Q1 . 周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあると 言われますか	1 . はい	2 . いいえ
Q2 . 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	1 . はい	2 . いいえ
Q3 . 今日が何月何日かわからない時がありますか	1 . はい	2 . いいえ
Q4 . 5分前のことが思い出せますか	1 . はい	2 . いいえ
Q5 . その日の活動（食事をする、衣服を選ぶなど）を自分で判断できますか 1 . 困難なくできる 2 . いくらか困難であるが、できる 3 . 判断するときに、他人からの合図や見守りが必要 4 . ほとんど判断できない		
Q6 . 人に自分の考えをうまく伝えられますか 1 . 伝えられる 2 . いくらか困難であるが、伝えられる 3 . あまり伝えられない 4 . ほとんど伝えられない		

問6 日常生活について

Q1. バスや電車で一人で外出していますか（自家用車でも可）

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

Q2. 日用品の買物をしていますか

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

Q3. 自分で食事の用意をしていますか

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

Q4. 請求書の支払いをしていますか

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

Q5. 預貯金の出し入れをしていますか

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

Q6. 食事は自分で食べられますか

1. できる 2. 一部介助（おかずを切ってもらうなど）があればできる 3. できない

Q7. 寝床に入るとき、何らかの介助を受けますか

1. 受けない 2. 一部介助があればできる 3. 全面的な介助が必要

Q8. 座っていることができますか

1. できる 2. 支えが必要 3. できない

Q9. 自分で洗面や歯磨きができますか

1. できる 2. 一部介助があればできる 3. できない

Q10. 自分でトイレができますか

1. できる 2. 一部介助（他人に支えてもらう）があればできる 3. できない

Q11. 自分で入浴ができますか

1. できる 2. 一部介助（他人に支えてもらう）があればできる 3. できない

Q12. 50m以上歩けますか

1. できる 2. 一部介助（他人に支えてもらう）があればできる 3. できない

Q13. 階段を昇り降りできますか

1. できる 2. 介助があればできる 3. できない

Q14. 自分で着替えができますか

1. できる 2. 介助があればできる 3. できない

Q15. 大便の失敗がありますか

1. ない 2. ときどきある 3. よくある

Q16. 尿もれや尿失禁がありますか

1. ない 2. ときどきある 3. よくある

Q17. 家事全般ができていますか

1. できている 2. できていない

Q18. 家で生活を送る上で、援助や支援をしてほしいことがありますか 1. ある 2. ない 問7へ

<p>Q11-1.(生きがいのある方のみ) 生きがいは何ですか(いくつでも)</p> <p>1. 会社や店で働くこと 2. 農作業や畑仕事 3. 家事や家事の手伝い 4. 庭木や花等の園芸 5. 孫の世話や成長 6. 友人と出かける 7. スポーツ 8. 編み物 9. 囲碁、将棋 10. 散歩 11. 公民館等の各種教室や活動 12. 旅行 13. 仲間内での趣味活動 14. ボランティア活動 15. 高齢者クラブ、町内会活動 16. その他()</p>
<p>Q12. 地域活動等に参加していますか(いくつでも)</p> <p>1. 祭り・行事 2. 自治会・町内会 3. サークル・自主グループ(住民グループ) 4. 高齢者クラブ 5. ボランティア活動 6. その他() 7. 参加していない</p>
<p>Q12-1.(参加していない方のみ) 今後の参加希望はありますか</p> <p>1. ぜひ参加したい 2. ときどき参加したい 3. 参加したいが「日時など」がわからない 4. 参加したいものがない 5. 参加したいが体調等の理由で参加できない 6. 参加したくない 7. まったく興味がない</p>
<p>Q13. 今後もひとり暮らしや高齢者世帯の増加が見込まれますが、住み慣れた地域で暮らしていくために、地域ではどのような支援が必要だと思えますか(いくつでも)</p> <p>1. 民生委員や町内会等の声かけ、見守り 2. 近所との交流 3. 高齢者が集まることのできる場所の充実 4. 高齢者クラブ活動への参加、活動の充実 5. 地域包括支援センター等による定期的な訪問活動 6. その他()</p>
<p>Q14. あなたが主に知りたい情報やお知らせは何ですか(いくつでも)</p> <p>1. 健康に関すること 2. 介護予防に関すること 3. 介護保険制度に関すること 4. 介護保険サービスに関すること 5. 地域包括支援センターのこと 6. その他福祉サービスのこと 7. 地域の行事やイベント 8. 趣味や生きがい関係 9. その他() 10. 特になし</p>

<p>問8 健康について</p>
<p>Q1. 普段、ご自分で健康だと思いますか</p> <p>1. とても健康 2. まあまあ健康 3. あまり健康でない 4. 健康でない</p>
<p>Q2. 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか(いくつでも)</p> <p>1. 高血圧 2. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等) 3. 心臓病 4. 糖尿病 5. 高脂血症(脂質異常) 6. 呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等) 7. 胃腸・肝臓・胆のうの病気 8. 腎臓・前立腺の病気 9. 筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等) 10. 外傷(転倒・骨折等) 11. がん(新生物) 12. 血液・免疫の病気 13. うつ病 14. 認知症(アルツハイマー病等) 15. パーキンソン病 16. 目の病気 17. 耳の病気 18. その他() 19. ない</p>
<p>Q3. 現在、医師の処方した薬を何種類飲んでいきますか</p> <p>1. 1種類 2. 2種類 3. 3種類 4. 4種類 5. 5種類以上 6. 飲んでいない</p>
<p>Q4. 現在、病院・医院(診療所、クリニック)に通院していますか 1. はい 2. いいえ Q5へ</p>
<p>Q4-1.(通院している方のみ) 通院の頻度は次のどれですか。</p> <p>1. 週1回以上 2. 月2~3回 3. 月1回程度 4. 2ヶ月に1回程度 5. 3ヶ月に1回程度</p>
<p>Q4-2.(通院している方のみ) 通院に介助が必要ですか 1. はい 2. いいえ</p>

Q5 .(ここ2週間) 毎日の生活に充実感がない	1 . はい	2 . いいえ
Q6 .(ここ2週間) これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった	1 . はい	2 . いいえ
Q7 .(ここ2週間) 以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じられる	1 . はい	2 . いいえ
Q8 .(ここ2週間) 自分が役に立つ人間だと思えない	1 . はい	2 . いいえ
Q9 .(ここ2週間) わけもなく疲れたような感じがする	1 . はい	2 . いいえ

問9	介護保険制度について
Q1 . あなたの介護保険料の負担感はどうですか	
1 . 負担は感じない	2 . それほど負担は感じない
3 . 普通	4 . やや負担を感じる
5 . 負担が大きい	6 . わからない
Q2 . 介護保険制度について満足されていますか	
1 . とても満足	2 . まあ満足
3 . 普通	4 . やや不満
5 . とても不満	6 . わからない
Q2 - 1 (Q2で4及び5とお答えの方) 介護保険制度について感じている主な不満はどれですか(3つまで)	
1 . 保険料が高い	2 . 利用料が高い
3 . 介護保険制度がわかりにくい	4 . 市役所窓口の対応
5 . 地域包括支援センターの対応	6 . サービス事業者の対応
7 . ケアマネジャーの対応	8 . サービス事業者が少ない
9 . その他()	
Q3 . 将来的には、どのような介護を受けながら暮らしたいですか	
1 . 介護サービスは利用せず、家族の介護だけで暮らしたい	
2 . 介護保険の在宅サービスを利用しながら、家族の介護も受けて暮らしたい	
3 . 介護保険の在宅サービスを利用して、家族の介護は受けずに暮らしたい	
4 . 特別養護老人ホームに入所して暮らしたい	
5 . 認知症対応型共同生活介護(グループホーム)に入居して暮らしたい	
6 . その他の施設で暮らしたい	
7 . その他()	
8 . わからない	

問 10 高齢者保健・福祉サービスについて

Q1. 石狩市の高齢者保健・福祉サービス及び施設の利用経験や利用意向についてお聞きします。
 [利用経験] 各サービス等について、それぞれ1～3から該当する番号を選んでください。
 [利用意向] 利用したいサービス等を選んでください。(はいいくつでも)

高齢者保健・福祉サービス等	利用経験			利用意向
	利用した ことがある	知っては いるが 利用して いない	知らない	利用 したい
(1)健康診査	1	2	3	
(2)がん検診(胃・肺・大腸・子宮・乳)	1	2	3	
(3)健康相談	1	2	3	
(4)健康講話	1	2	3	
(5)フリープラン(健康運動個別指導)	1	2	3	
(6)リハビリ教室	1	2	3	
(7)パワーリハビリテーション	1	2	3	
(8)中・高齢者向け太極拳教室	1	2	3	
(9)高齢者・身体障がい者合同スポーツ大会	1	2	3	
(10)福祉利用割引券	1	2	3	
(11)高齢者クラブ	1	2	3	
(12)憩の家・寿の家(高齢者いきがい福祉施設)	1	2	3	
(13)生きがい対策事業(農園・陶芸・舞踊)	1	2	3	
(14)いきいきホームヘルプサービス	1	2	3	
(15)いきいきデイサービス	1	2	3	
(16)いきがいショートステイ	1	2	3	
(17)ニコピン倶楽部(閉じこもり予防通所事業)	1	2	3	
(18)徘徊認知症高齢者等検索機器貸与	1	2	3	
(19)ひとり暮らし高齢者等訪問サービス	1	2	3	
(20)ひとり暮らし高齢者世帯等除雪サービス	1	2	3	
(21)ひとり暮らし高齢者等緊急通報サービス	1	2	3	
(22)食の自立支援(配食)サービス	1	2	3	
(23)ふれあい雪かき運動	1	2	3	
(24)寝たきり高齢者等外出支援サービス	1	2	3	
(25)寝たきり高齢者等理容サービス	1	2	3	
(26)寝たきり高齢者等紙おむつ給付サービス	1	2	3	
(27)寝たきり高齢者等ふとんクリーニングサービス	1	2	3	
(28)成年後見制度	1	2	3	
(29)ニコピン編集局(高齢者向け情報誌「遊歩」発刊)	1	2	3	
(30)石狩市地域包括支援センター	1	2	3	

Q2 . Q1の表のサービス以外に、みなさんが望まれる福祉サービスはありますか
ありましたらご自由にお書きください

高齢者施策や介護保険について、ご意見等があれば自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

記入もれがないか、今一度お確かめください。

記入した調査票を切り離すことなく、送付されたもの全て（表紙も含みます）を3つ折りにして、
同封した返信用封筒に切手を貼らずに投函してください。

2. 介護サービス利用者・未利用者

(宛名ラベル)

日常生活圏域ニーズ調査(案)

【調査票】

この調査票は、高齢者の保健・福祉サービスや、介護保険に関する内容のものです。

調査票記入後は、3つ折りにし同封の返信用封筒に入れて、
月 日()までに投函してください。

記入日	平成 年 月 日
あて名のご本人の情報	年齢()歳 男・女
調査票を記入されたのはどなたですか。をつけてください。 1. あて名のご本人が記入 2. ご家族が記入 (あて名のご本人からみた続柄) 3. その他	

石狩市高齢者支援課

は じ め に

皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

日頃から石狩市介護保険事業にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

石狩市では、皆様のご意見やご要望を幅広くお聞きし、平成23年度策定予定の「石狩市高齢者保健福祉計画・第5期介護保険事業計画」に反映させていくために、高齢者福祉全般の調査を実施します。

この調査票は、国から示された案を基に作成しており、平成 年 月 日現在65歳以上の方の中から無作為に抽出した , 人の方にお送りしております。調査票が届いた方は調査へのご協力をお願いいたします。

なお、この調査票の結果、将来介護を必要とする可能性が高いと判断された方に対しては、地域包括支援センターから、介護予防事業等のご案内をさせていただく場合がございます。

なお、収集した個人情報健康情報という利用者様にとって大切な個人情報であるという認識にたち、石狩市個人情報保護条例に基づく適正な取扱いを行います。

記 入 に 際 し て の お 願 い

1. この調査の対象者は、平成 年 月 日現在、65歳以上の方です。
2. ご回答にあたっては表紙ラベルのあて名のご本人についてお答えいただきますが、ご家族の方がご本人の代わりに回答されたり、一緒に回答されてもかまいません。
3. ご回答にあたっては質問をよくお読みいただき、該当する番号を で囲み、数字を記入する欄は右詰め(例.

0	6	2
---	---	---

 kg)でご記入ください。
4. この調査で使う用語の意味は、以下の通りです。
介護...介護保険のサービスを受けている場合のほか、認定を受けていない場合でも、常時ご家族などの援助を受けている状態
介助...ご自分の意思により、一時的に他人に援助を頼んでいる状態
5. この調査についてのお問い合わせは下記までお願いいたします。
6. 調査票記入後は、3つ折りで同封の返信用封筒に入れてお送りください。

問合せ先	石狩市高齢者支援課
	電話(直通) 72-6121

Q7. お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか	1. 一戸建て	2. 集合住宅
Q8. お住まいは、次のどれにあたりますか 1. 持ち家 2. 民間賃貸住宅(アパート・公団・高齢者住宅等) 3. 公営住宅(市住・道住等) 4. 借間 5. その他()		
Q9. お住まい(主に生活する部屋)は2階以上にありますか	1. はい	2. いいえ 問2へ
Q9-1.(2階以上の方) お住まいにエレベーターは設置されていますか	1. はい	2. いいえ

問2 運動・閉じこもりについて		
Q1. 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	1. はい	2. いいえ
Q2. 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	1. はい	2. いいえ
Q3. 15分位続けて歩いていますか	1. はい	2. いいえ
Q4. 5m以上歩けますか	1. はい	2. いいえ
Q5. 週に1回以上は外出していますか	1. はい	2. いいえ
Q6. 昨年と比べて外出の回数が減っていますか	1. はい	2. いいえ
Q7. 外出を控えていますか	1. はい	2. いいえ
Q7-1.(外出を控えている方のみ) 外出を控えている理由は、次のどれですか(いくつでも) 1. 病気 2. 障害(脳卒中の後遺症など) 3. 足腰などの痛み 4. トイレの心配(失禁など) 5. 耳の障がい(聞こえの問題など) 6. 目の障がい 7. 外での楽しみがない 8. 経済的に出られない 9. その他()		
Q8. 買物、散歩で外出する頻度はどのくらいですか(それぞれ1つ) A. 買物... 1. ほぼ毎日 2. 週4、5日 3. 週2、3日 4. 週1日 5. 週1日未満 B. 散歩... 1. ほぼ毎日 2. 週4、5日 3. 週2、3日 4. 週1日 5. 週1日未満		
Q9. 外出する際の移動手段は何ですか(いくつでも) 1. 徒歩 2. 自転車 3. バイク 4. 自動車(自分で運転) 5. 自動車(人に乗せてもらう) 6. 電車 7. 路線バス 8. 病院や施設のバス 9. 車いす 10. 電動車いす(カート) 11. 歩行器・シルバーカー 12. タクシー 13. その他()		

問3 転倒予防について		
Q1. この1年間に転んだことがありますか	1. はい	2. いいえ
Q2. 転倒に対する不安は大きいですか	1. はい	2. いいえ
Q3. 背中が丸くなってきましたか	1. はい	2. いいえ
Q4. 以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか	1. はい	2. いいえ
Q5. 杖を使っていますか	1. はい	2. いいえ

問4 口腔・栄養について		
Q1. 6カ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	1. はい	2. いいえ
Q2. 身長 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> cm	体重 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> kg	
Q3. 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい	2. いいえ
Q4. お茶や汁物等でむせることがありますか	1. はい	2. いいえ
Q5. 口の湯きが気になりますか	1. はい	2. いいえ
Q6. 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか	1. はい	2. いいえ
Q7. 定期的に歯科受診（健診を含む）をしていますか	1. はい	2. いいえ
Q8. 入れ歯を使用していますか	1. はい	2. いいえ
問5へ		
Q8-1. (入れ歯のある方のみ) 噛み合わせは良いですか	1. はい	2. いいえ
Q8-2. (入れ歯のある方のみ) 毎日入れ歯の手入れをしていますか	1. はい	2. いいえ

問5 物忘れについて		
Q1. 周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあると 言われますか	1. はい	2. いいえ
Q2. 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	1. はい	2. いいえ
Q3. 今日が何月何日かわからない時がありますか	1. はい	2. いいえ

Q4 . 5分前のことが思い出せますか	1 . はい	2 . いいえ
Q5 . その日の活動（食事をする、衣服を選ぶなど）を自分で判断できますか	1 . 困難なくできる 2 . いくらか困難であるが、できる 3 . 判断するときに、他人からの合図や見守りが必要 4 . ほとんど判断できない	
Q6 . 人に自分の考えをうまく伝えられますか	1 . 伝えられる 2 . いくらか困難であるが、伝えられる 3 . あまり伝えられない 4 . ほとんど伝えられない	

問6 日常生活について		
Q1 . バスや電車で一人で外出していますか（自家用車でも可）	1 . できるし、している 2 . できるけどしていない 3 . できない	
Q2 . 日用品の買物をしていますか	1 . できるし、している 2 . できるけどしていない 3 . できない	
Q3 . 自分で食事の用意をしていますか	1 . できるし、している 2 . できるけどしていない 3 . できない	
Q4 . 請求書の支払いをしていますか	1 . できるし、している 2 . できるけどしていない 3 . できない	
Q5 . 預貯金の出し入れをしていますか	1 . できるし、している 2 . できるけどしていない 3 . できない	
Q6 . 食事は自分で食べられますか	1 . できる 2 . 一部介助（おかずを切ってもらふなど）があればできる 3 . できない	
Q7 . 寝床に入るとき、何らかの介助を受けますか	1 . 受けない 2 . 一部介助があればできる 3 . 全面的な介助が必要	
Q8 . 座っていることができますか	1 . できる 2 . 支えが必要 3 . できない	
Q9 . 自分で洗面や歯磨きができますか	1 . できる 2 . 一部介助があればできる 3 . できない	
Q10 . 自分でトイレができますか	1 . できる 2 . 一部介助（他人に支えてもらう）があればできる 3 . できない	
Q11 . 自分で入浴ができますか	1 . できる 2 . 一部介助（他人に支えてもらう）があればできる 3 . できない	
Q12 . 50m以上歩けますか	1 . できる 2 . 一部介助（他人に支えてもらう）があればできる 3 . できない	

Q13. 階段を昇り降りできますか	1. できる	2. 介助があればできる	3. できない
Q14. 自分で着替えができますか	1. できる	2. 介助があればできる	3. できない
Q15. 大便の失敗がありますか	1. ない	2. ときどきある	3. よくある
Q16. 尿もれや尿失禁がありますか	1. ない	2. ときどきある	3. よくある
Q17. 家事全般ができていますか	1. できている	2. できていない	
Q18. 家で生活を送る上で、援助や支援をしてほしいことがありますか	1. ある	2. ない	問7へ
Q18-1. (援助や支援が必要な方のみ) 援助や支援をしてほしいことは何ですか(いくつでも)	1. 話し相手 2. ゴミだし 3. 掃除 4. 洗濯 5. 食事の準備 6. 買い物 7. 雪下ろし・雪かき 8. 公共交通の充実 9. 外出時の付添い 10. 外出時の移動手段 11. 簡単な修繕 12. 往診 13. その他()		

問7 社会参加について			
Q1. 年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか	1. はい	2. いいえ	
Q2. 新聞を読んでいますか	1. はい	2. いいえ	
Q3. 本や雑誌を読んでいますか	1. はい	2. いいえ	
Q4. 健康についての記事や番組に関心がありますか	1. はい	2. いいえ	
Q5. 友人や親戚等の家を訪ねていますか	1. はい	2. いいえ	5-2へ
Q5-1. (友人や親戚等の家を訪ねている方のみ) どのくらい訪ねていますか	1. 週の半分以上 2. 週1~2回 3. 月1~2回 4. それ以下		
Q5-2. 友人や親戚等が訪ねてきますか	1. はい	2. いいえ	Q6へ
Q5-3. (友人や親戚等が訪ねて来る方のみ) どのくらい訪ねてきますか	1. 週の半分以上 2. 週1~2回 3. 月1~2回 4. それ以下		
Q6. 家族や友人の相談にのっていますか	1. はい	2. いいえ	
Q7. 何かあったときに、家族や友人・知人などに相談をしていますか	1. はい	2. いいえ	Q8
Q7-1. (相談している方のみ) 相談相手を教えてください(いくつでも)	1. 配偶者(夫・妻) 2. 息子 3. 娘 4. 子の配偶者 5. 兄弟・姉妹 6. 友人・知人 7. 医師・歯科医師・看護師 8. 民生委員 9. 自治会・町内会 10. 高齢者クラブ 11. 社会福祉協議会 12. 地域包括支援センター 13. ケアマネジャー 14. 役所・保健師 15. その他()		

問9 介護保険制度について

Q1. あなたの介護保険料の負担感はどうですか

1. 負担は感じない 2. それほど負担は感じない 3. 普通
4. やや負担を感じる 5. 負担が大きい 6. わからない

Q2. 要支援・要介護認定についてどのようにお感じですか

1. 思ったよりも軽く判定された 2. 妥当だと思う 3. 思ったよりも重く判定された
4. わからない

Q3. 介護保険制度について満足されていますか

1. とても満足 2. まあ満足 3. 普通 4. やや不満 5. とても不満 6. わからない

Q3-1 (Q3で4及び5とお答えの方) 介護保険制度について感じている主な不満はどれですか(3つまで)

1. 保険料が高い 2. 利用料が高い 3. 介護保険制度がわかりにくい
4. 市役所窓口の対応 5. 地域包括支援センターの対応 6. サービス事業者の対応
7. ケアマネージャーの対応 8. サービス事業者が少ない 9. その他()

Q4. サービス事業者に不満があった場合、どのようにしましたか

1. 我慢した 2. サービス事業者に苦情を言った 3. 公的機関(市、北海道等)に苦情を伝えた
4. サービス事業者を変えた 5. その他()

Q5. 現在、介護保険サービスを利用されていない方にお聞きします。介護保険サービスを利用していない理由は何ですか

1. 特に必要がない 2. 家族等が介護してくれる
3. 利用したいサービスがない 4. 利用料が負担できないから
5. 施設入所を待っている 6. その他() 7. 特に理由はない

Q6. 現在、特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護療養型医療施設に入所されていますか

1. はい 2. いいえ Q7へ

Q6-1. 入所の理由は何ですか

1. 介護してくれる家族がない 2. 家族の負担を減らしたい
3. 施設の方が必要な介護を受けられる 4. 入所したくなかったが家族に勧められたから
5. その他() 6. わからない

Q7 将来的には、どのような介護を受けながら暮らしたいですか

1. 介護サービスは利用せず、家族の介護だけで暮らしたい
2. 介護保険の在宅サービスを利用しながら、家族の介護も受けて暮らしたい
3. 介護保険の在宅サービスを利用して、家族の介護は受けずに暮らしたい
4. 特別養護老人ホームに入所して暮らしたい
5. 認知症対応型共同生活介護(グループホーム)に入居して暮らしたい
6. その他の施設で暮らしたい
7. その他()
8. わからない

- Q1. 石狩市の高齢者保健・福祉サービス及び施設の利用経験や利用意向についてお聞きします。
 [利用経験] 各サービス等について、それぞれ1～3から該当する番号を選んでください。
 [利用意向] 利用したいサービス等を選んでください。(はいくつでも)

高齢者保健・福祉サービス等	利用経験			利用意向
	利用したことがある	知ってはいるが利用していない	知らない	利用したい
(1)健康診査	1	2	3	
(2)がん検診(胃・肺・大腸・子宮・乳)	1	2	3	
(3)健康相談	1	2	3	
(4)健康講話	1	2	3	
(5)フリープラン(健康運動個別指導)	1	2	3	
(6)リハビリ教室	1	2	3	
(7)パワーリハビリテーション	1	2	3	
(8)中・高齢者向け太極拳教室	1	2	3	
(9)高齢者・身体障がい者合同スポーツ大会	1	2	3	
(10)福祉利用割引券	1	2	3	
(11)高齢者クラブ	1	2	3	
(12)憩の家・寿の家(高齢者いきがい福祉施設)	1	2	3	
(13)生きがい対策事業(農園・陶芸・舞踊)	1	2	3	
(14)いきいきホームヘルプサービス	1	2	3	
(15)いきいきデイサービス	1	2	3	
(16)いきがいショートステイ	1	2	3	
(17)ニコピン倶楽部(閉じこもり予防通所事業)	1	2	3	
(18)徘徊認知症高齢者等検索機器貸与	1	2	3	
(19)ひとり暮らし高齢者等訪問サービス	1	2	3	
(20)ひとり暮らし高齢者世帯等除雪サービス	1	2	3	
(21)ひとり暮らし高齢者等緊急通報サービス	1	2	3	
(22)食の自立支援(配食)サービス	1	2	3	
(23)ふれあい雪かき運動	1	2	3	
(24)寝たきり高齢者等外出支援サービス	1	2	3	
(25)寝たきり高齢者等理容サービス	1	2	3	
(26)寝たきり高齢者等紙おむつ給付サービス	1	2	3	
(27)寝たきり高齢者等ふとんクリーニングサービス	1	2	3	
(28)成年後見制度	1	2	3	
(29)ニコピン編集局(高齢者向け情報誌「遊歩」発行)	1	2	3	
(30)石狩市地域包括支援センター	1	2	3	

Q2 . Q1の表のサービス以外に、みなさんが望まれる福祉サービスはありますか
ありましたらご自由にお書きください

高齢者施策や介護保険について、ご意見等があれば自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

記入もれがないか、今一度お確かめください。

記入した調査票を切り離すことなく、送付されたもの全て（表紙も含みます）を、
3つ折りにして同封した返信用封筒に切手を貼らずに投函してください。

3. 参考資料(国)

(宛名ラベル)

日常生活圏域ニーズ調査

【調査票】

調査票記入後は、3つ折りにし同封の返信用封筒に入れて、 月 日()までに投函してください。

記入日	平成 年 月 日
調査票を記入されたのはどなたですか。をつけてください。	
1. あて名のご本人が記入	
2. ご家族が記入 (あて名のご本人からみた続柄_____)	
3. その他	

以下はあて名のご本人の情報を記入してください。

電話番号	-
年齢・性別	()歳 男・女
生年月日	大正・昭和 年 月 日

市介護保険課
係

は じ め に

皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

日頃から 市介護保険事業にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

。なお、収集した個人情報は健康情報という利用者様にとって大切な個人情報であるという認識にたち、 市個人情報保護条例に基づく適正な取扱いを行います。

記入に際してのお願い

1. この調査の対象者は、平成 年 月 日現在、65歳以上の方です。
2. ご回答にあたっては表紙ラベルのあて名のご本人についてお答えいただきますが、ご家族の方がご本人の代わりに回答されたり、ご一緒に回答されてもかまいません。
3. ご回答にあたっては質問をよくお読みいただき、該当する番号を で囲み、数字を記入する欄は右詰め（例．

0	6	2
---	---	---

 kg ）でご記入ください。
4. この調査で使う用語の意味は、以下の通りです。
介護...介護保険のサービスを受けている場合のほか、認定を受けていない場合でも、常時ご家族などの援助を受けている状態
介助...ご自分の意思により、一時的に他人に援助を頼んでいる状態
5. この調査についてのお問い合わせは下記までお願いいたします。
6. 調査票記入後は、3つ折りで同封の返信用封筒に入れてお送りください。

問合せ先	市介護保険課	係
	電話（直通）	-

問4 口腔・栄養について

Q1. 6カ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	1. はい	2. いいえ
Q2. 身長 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> cm 体重 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> kg		
Q3. 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい	2. いいえ
Q4. お茶や汁物等でむせることがありますか	1. はい	2. いいえ
Q5. 口の渇きが気になりますか	1. はい	2. いいえ
Q6. 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか	1. はい	2. いいえ
Q7. 定期的に歯科受診（健診を含む）をしていますか	1. はい	2. いいえ
Q8. 入れ歯を使用していますか	1. はい	2. いいえ
	Q8 - 1、2へ	問5へ
Q8 - 1.（入れ歯のある方のみ）噛み合わせは良いですか	1. はい	2. いいえ
Q8 - 2.（入れ歯のある方のみ）毎日入れ歯の手入れをしていますか	1. はい	2. いいえ

問5 物忘れについて

Q1. 周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあると 言われますか	1. はい	2. いいえ
Q2. 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	1. はい	2. いいえ
Q3. 今日が何月何日かわからない時がありますか	1. はい	2. いいえ
Q4. 5分前のことが思い出せますか	1. はい	2. いいえ
Q5. その日の活動（食事をする、衣服を選ぶなど）を自分で判断できますか 1. 困難なくできる 2. いくらか困難であるが、できる 3. 判断するときに、他人からの合図や見守りが必要 4. ほとんど判断できない		
Q6. 人に自分の考えをうまく伝えられますか 1. 伝えられる 2. いくらか困難であるが、伝えられる 3. あまり伝えられない 4. ほとんど伝えられない		

問6 日常生活について

Q1. バスや電車で一人で外出していますか(自家用車でも可)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

Q2. 日用品の買物をしていますか

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

Q3. 自分で食事の用意をしていますか

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

Q4. 請求書の支払いをしていますか

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

Q5. 預貯金の出し入れをしていますか

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

Q6. 食事は自分で食べられますか

1. できる 2. 一部介助(おかずを切ってもらうなど)があればできる 3. できない

Q7. 寝床に入るとき、何らかの介助を受けますか

1. 受けない 2. 一部介助があればできる 3. 全面的な介助が必要

Q8. 座っていることができますか

1. できる 2. 支えが必要 3. できない

Q9. 自分で洗面や歯磨きができますか

1. できる 2. 一部介助があればできる 3. できない

Q10. 自分でトイレができますか

1. できる 2. 一部介助(他人に支えてもらう)があればできる 3. できない

Q11. 自分で入浴ができますか

1. できる 2. 一部介助(他人に支えてもらう)があればできる 3. できない

Q12. 50m以上歩けますか

1. できる 2. 一部介助(他人に支えてもらう)があればできる 3. できない

Q13. 階段を昇り降りできますか

1. できる 2. 介助があればできる 3. できない

Q14. 自分で着替えができますか

1. できる 2. 介助があればできる 3. できない

Q15. 大便の失敗がありますか

1. ない 2. ときどきある 3. よくある

Q16. 尿もれや尿失禁がありますか

1. ない 2. ときどきある 3. よくある

Q17. 家事全般ができていますか

1. できている 2. できていない

